特30
686

千葉縣立千葉中學校一覽

明治四十二年
（第二十四學年）

259
462

特30
686

千葉縣立千葉中學校一覽目次

一 學曆……一頁
二 沿革略……三頁
三 中學校令(抄錄)……八頁
四 中學校令施行規則(抄錄)……八頁
五 千葉縣立中學校學則……一三頁
六 千葉縣立千葉中學校細則……二三頁
七 千葉縣立千葉中學校敬義寮規則……三四頁
八 公立中學校職員名稱待遇及任免……四〇頁
九 千葉縣立中學校職員職務規定……四一頁
十 千葉縣立千葉中學校職員處務細則……四五頁
十一 圖書借用規程……五〇頁

明治
42 7 31

十二職員……五一頁
十三生徒……五六頁
十四卒業生……七一頁
十五身体檢査表……一〇〇頁
十六卒業生及生徒郡別表……一〇一頁
十七敷地及建物……一〇三頁
附錄……一〇四頁
校友會規則同窓會規則及貯金規約

學曆

四月一日　春季休業始ル
四月七日　春季休業終ル
四月八日　第一學期授業始ル
七月三十日　第一學期授業終ル
七月二十一日　夏季休業始ル
九月十日　夏季休業終ル
九月十七日　第二學期授業始ル

秋分

十月十七日　休業（秋季皇靈祭）
十一月一日　休業（神嘗祭）
十一月三日　休業（本校記念日）
十一月二十三日　休業（天長節）
十二月二十五日　休業（新嘗祭）
十二月二十六日　第二學期授業終ル
一月七日　冬季休業始ル
冬季休業終ル

一月八日　第三學期授業始ル
一月三十日　休業（孝明天皇祭）
二月十一日　休業（紀元節）
春　分　休業（春季皇靈祭）
三月卅一日　第三學期授業終ル

沿革略

千葉縣立千葉中學校ノ起源ヲ尋ヌルニ本校ハ明治十一年千葉縣令柴原和縣立千葉中學校規則ヲ定メ同年八月師範學校構内ヲ區劃シテ假ニ千葉中學校ヲ創設セラレタルモノニシテ當時千葉師範學校長木間瀨柔三本校總理ヲ兼ネタリ十一月總理木間瀨柔三郡長ニ轉任シ教師長那珂通世總理トナル

十二年一月本校規則ノ一部ヲ改正ス六月寄宿舍狹隘ナルヲ以テ一棟ヲ新築ス十一月總理那珂通世文部省ニ轉任シ小杉恒太郎校長ニ任セラル

十三年二月規則ヲ改正ス

十四年七月始メテ卒業証書授與式ヲ擧行ス同月學校職員名稱准官等及月俸額制定ノ件ヲ發布セラル

十五年二月書記准官等月俸額制定ヲ發布セラル七月本校經費ノ地方税支辨タルヲ廢シ別途金ヲ以テ維持スルコトヽナル

十六年七月本校經費ハ地方税及別途金ノ連帶維持トナル

十七年一月職員職務章程ヲ定メラル三月規則ヲ改正ス

十九年四月勅令第十五號ヲ以テ中學校令ヲ發布セラル同月校長小杉恒太郎文部省視學官ニ轉任シ二等教諭手島春治校長心得ニ任セラル六月文部省令第十四號ヲ以テ尋

常中學校學科及其程度ヲ定メラル八月本校ヲ千葉師範學校女子部跡ニ移轉ス十月中學校令ニ基キ校名ヲ千葉縣尋常中學校ト改稱ス同月新定ノ規則ヲ施行ス

二十年一月本校規則ヲ追加ス二月校長手島春治辭職シ千葉師範學校二等教諭田中直吉校長事務取扱ヲ命セラル四月職員職務章程ヲ改定セラル五月校長事務取扱田中直吉校長ニ任セラル

二十一年六月　天皇陛下ノ御眞影ヲ下賜セラル

二十二年四月校長田中直吉願ニ依リテ本官ヲ免セラレ教諭瀧川重太郎當分ノ内校長心得ヲ以テ校務取扱ヲ命セラル七月沼田悟郎校長ニ任セラレ瀧川重太郎ノ心得ヲ解カル

二十三年二月縣令第三十二號ヲ以テ本校規則ノ一部ヲ改正セラル三月縣令第五十一號ヲ以テ縣立中學校資本金管理法ヲ定メラル十二月教育ニ關スル　勅語謄本ヲ拜受ス

二十四年三月勅令第二百四十一號ヲ以テ中學校令ノ一部ヲ改正セラル同月勅令第二百四十四號ヲ以テ公立中學校專門學校技藝學校職員名稱待遇及任免ノ件ヲ定メラル同月文部省令第二十七號ヲ以テ尋常中學校設備規則ヲ定メラル十二月沼田悟郎本縣屬ニ任セラレ本間六郎校長ニ任セラル

二十五年六月縣令第七十二號ヲ以テ本校規則ヲ追加セラル十月理化學教室增築工事ニ着手シ十二月ニ至リテ落成ス十二月　皇后陛下ノ御眞影ヲ下賜セラル同月校長本間六郎死亡シ教諭村山自疆當分ノ内校長心得ヲ以テ校務取扱ヲ命セラル

二十六年二月梅若誠太郎校長ニ任セラレ村山自疆ノ校長心得ヲ解カル同月縣令第九號ヲ以テ本校規則ヲ追加セラル

二十七年三月文部省令第七號ヲ以テ尋常中學校ノ學科及其程度ニ關スル規則ノ一部ヲ改正セラル五月敷地百二十一坪ヲ購買ス六月教室增築等ノ工事ニ着手シ九月ニ至リテ竣工ス九月文部省令第二十四號ヲ以テ尋常中學校入學規程ヲ定メラル十一月文部大臣西園寺公望本校ヲ視察セラル

二十八年七月本校職員職務規程ヲ定ム

三十年二月校長梅若誠太郎休職ヲ命セラレ教諭大瀧八郎校長心得ヲ命セラル二月休職校長梅若誠太郎願ニ依リテ其官ヲ免セラル四月菊池謙二郎校長ニ任セラレ大瀧八郎ノ校長心得ヲ解カル九月本校規則ノ一部ヲ改正セラレ同月職員職務規程ヲ改正セラル十一月職員職務規程ノ一部ヲ改正セサレ十一月校旗ヲ授與セラル同月本校創立以來二十年ニ至ルヲ以テ第一回記念會ヲ行フ

三十一年二月本校規則ノ一部ヲ改正ス四月校長菊池謙二郎休職ヲ命セラレ本縣參事官高橋要次郎校長臨時兼務ヲ命セラル同月黑川雲登校長ニ任セラル六月休職校長菊池謙二郎願ニ依リテ其官ヲ免セラル同月千葉縣立學校長處務規程ヲ定メラル十一月

校長黑川雲登休職ヲ命セラル同月敎諭白石眞校長事務取扱ヲ命セラル同月溝淵進馬校長ニ任セラレ白石眞校長事務取扱ヲ免セラル

三十二年二月勅令第二十八號ヲ以テ中學校令ヲ改正セラル四月千葉縣千葉尋常中學校ヲ千葉縣千葉中學校ト改稱セラル五月縣令第三十九號ヲ以テ千葉縣公立中學校學則ヲ定メラル七月是ヨリ先キ猪ノ鼻陵上ニ地ヲ相シ經營セル現在ノ校舍新築成ルヲ以テ之ニ移轉ス八月校長溝淵進馬願ニ依リ校長ヲ免セラレ由比質校長ニ任セラル九月文部大臣樺山資紀專門學務局長上田萬年本校ヲ視察セラル十一月新築落成式ヲ行フ文部次官奧田義人來臨ス翌日一般士民ノ縱覽ヲ許ス

三十三年一月本縣君津郡木更津町ニ分校ヲ設置シ千葉縣千葉中學校木更津分校ト稱シ本校ノ所屬トセラル八月縣令第五十五號ヲ以テ公立中學校學則ノ一部ヲ改正追加セラル

三十四年四月木更津分校ヲ本校ノ組織ニ改メ千葉縣木更津中學校ト稱シ更ニ東葛飾郡松戸町ニ分校ヲ設置シ千葉縣千葉中學校松戸分校ト稱シ本校ノ所屬トセラル同月縣令第六十一號ヲ以テ千葉縣立中學校學則ヲ定メラル同月本校ヲ千葉縣立千葉中學校ト分校ヲ千葉縣立千葉中學校松戸分校ト改稱セラル同月補習科ヲ設置シ其學科課程每週敎授時數ヲ定メラル六月千葉縣立學校職員職務規程ヲ定メラル九月千葉縣立中學校學則ヲ追加セラル

三十五年一月千葉縣立學校職員職務規程ノ一部ヲ改正セラル同月本校細則ヲ改正シ敬義寮規則ヲ定ム二月縣令第十一號ヲ以テ千葉縣立中學校學則ノ一部ヲ改正セラル同月文部省令第二號ヲ以テ中學校令施行規則ヲ定メラル三月文部省訓令第三號ヲ以テ中學校敎授要目ヲ定メラル七月是ヨリ先キ松戸町字戸定ノ陵上ニ地ヲ相シテ松戸分校新築ヲ經營セシガ校舍成リシヲ以テ之ニ移轉ス十月本校ノ書庫トシテ經營セル校舍增築成ル十一月文部大臣理學博士男爵菊池大麓本校ヲ巡視セラル

三十六年一月松戸分校講堂及特別敎室並ニ銃器室成ル「七月三日松戸分校へ　御眞影ヲ下賜セラル」

三十七年一月二十三日松戸分校新築寄宿舍成リ浩氣寮ト名ツク三月二十八日松戸分校開校式ヲ執行ス三月第一回三學年修了證書授與式ヲ行フ

三十八年三月訓令甲第十四號ヲ以テ千葉縣立學校職員職務規程ヲ定メラレ三十四年六月訓令甲第五十九號廢セラル

三十九年三月縣令第三十二號ヲ以テ千葉縣立中學校學則ヲ改正セラル同月縣告示第五十五號ヲ以テ松戸分校廢止トナル

四十年二月校長由比質第五高等學校ニ轉任セラレ吉田龍賢校長ニ任セラル同月縣令第十二號ヲ以テ縣立中學校學則ノ一部ヲ改正セラル

四十一年三月三十一日千葉縣令第二十三號ヲ以テ縣立中學校學則ノ一部ヲ改正セラル七月千葉縣令第四十七號ヲ以テ千葉縣立中學校學則ヲ改正セラレ本校ニ實業ノ科

目ヲ加ヘタル講習科ヲ設置シ七名ノ生徒ヲ收容セリ十月十六日文部省視學官針塚長太郎本校ヲ視察セラレ十一月一日本校創立三十年ニ至ルヲ以テ第二回記念會ヲ行フ四十二年五月廿二日文部省視學官針塚長太郎來校

中學校令(抄錄)

明治三十二年二月六日 勅令第二十八號

第一條　中學校ハ男子ニ須要ナル高等普通教育ヲ爲スヲ以テ目的トス

第九條　中學校ノ修業年限ハ五ヶ年トス　但シ一箇年以内ノ補習科ヲ置クコトヲ得

第十條　中學校ニ入學スルコトヲ得ル者ハ年齡十二年以上ニシテ尋常小學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スル者タルヘシ(明治四十一年一月改正)

中學校令施行規則(抄錄)

明治三十四年三月 文部省令第三號

第一條　中學校ノ學科目ハ修身、國語及漢文、外國語、歷史、地理、數學、博物、物理及化學、法制及經濟、圖書、唱歌、体操トス

法制及經濟、唱歌ハ當分之ヲ缺クコトヲ得

第十六條　學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

學年ハ分テ三學期トシ第一學期ハ四月一日ヨリ八月三十一日マテトシ第二學期ハ九月一日ヨリ十二月三十一日マテトシ第三學期ハ翌年一月一日ヨリ三月三十一日マテトス

前二項ノ規定ハ補習科ニ關シテハ之ヲ適用セス

第十七條　教授日數ハ每學年二百日以上トス　但シ次條ノ場合及特別ノ事情ニ依リ文部大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ニ於テハ此ノ限ニアラズ

試驗及修學旅行ニ充ツル日數ハ前項ノ日數ニ算入セス

第十八條　傳染病豫防ノ爲必要ナルトキ其他非常變災アルトキハ臨時休業ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ事由アルトキハ地方長官ハ道廳府縣立以外ノ中學校ノ休業ヲ命スルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テハ事由ヲ具シ遲滯ナク文部大臣ニ屆出ツヘシ

第十九條　紀元節、天長節及一月一日ニハ職員及生徒學校ニ參集シテ祝賀ノ式ヲ行フヘシ

第二十條　中學校ノ生徒數ハ四百人以下トス　但シ特別ノ事情アルトキハ六百人マテ之ヲ增スコトヲ得

分校ノ生徒ハ三百人以下トス

補習科ノ生徒數ハ前學年ニ於テ當該學校ヲ卒業シタル者ノ數ヲ超ユルコトヲ得ス

前項ノ生徒數ハ第一項ノ生徒數ニ算入セス

第二十一條　學級ハ同學年ノ生徒ヲ以テ之ヲ編制スヘシ

一學級ノ生徒ハ五十人以下トス

第二學年以上ニ於ケル各學年ノ學級數ハ第一學年ノ學級數ニ超過スルコトヲ得ス

但シ特別ノ事情ニ依リ文部大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニアラス（三十六年文部省令第二十八號ヲ以テ追加）

前項ノ場合ニ於テ分校ノ學級數ハ本校ノ學級數ニ算入ス（同上）

第四十一條　生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始ヨリ三十日以内トス

但シ缺員アルトキハ第二學期及第三學期ノ始ヨリ十日以内ニ臨時入學セシムルコトヲ得第五學年ニハ轉學又ハ當該學年ニ於テ退學シタル者ノ再入學ヲ除クノ外ニ生徒ノ入學ヲ許スコトヲ得ス

前項ノ規定ハ補習科ノ生徒入學ニ關シテハ之ヲ適用セス（三十六年廿八號補）

第四十二條　第一學年入學志願者中尋常小學校ヲ卒業セサル者ニ就キテハ試驗ニ依リテ其學力ヲ檢定スヘシ

第一學年入學志願者中尋常小學校ヲ卒業シタル者ハ其ノ他ノ志願者ニ先チテ入學ヲ許スコトヲ得

尋常小學校ヲ卒業シタル者ノ數入學ヲ許スヘキ人員ニ超過スルトキハ試驗ニ依リテ入學者ヲ撰拔スヘシ

第四十三條　前條第一項ノ試驗ハ國語、算術、日本歷史、地理、理科ニ就キ尋常小學校卒業ノ程度ニ依リテ之ヲ行フヘシ

第四十四條　第二學年以上ニ入學ヲ許スヘキ者ハ相當年齡ニ達シ前各學年ノ課程ヲ卒リタル者ト同等ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

前項入學者ノ學力ハ前各學年ノ程度ニ於テ其ノ各學科目ニ就キ試驗ニ依テ檢定スヘシ

第四十五條（三十六年第廿八號改正）中學校生徒ニシテ退學シタル者退學シタルトキヨリ一箇年以内ニ於テ中學校ニ入學ヲ志願シタルトキハ同一學年以下ノ學年ニ限リ入學ヲ許可スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ其ノ退學シタル中學校ニ再入學ヲ志願シタル者ニ限リ試驗ニ依ラサルコトヲ得

第四十六條　他ノ中學ニ轉學ヲ志望スル生徒アルトキハ學校長ハ正當ノ事由アリト認メタル場合ニ限リ其ノ生徒ノ在學證明書及成績表ヲ移轉先學校ニ送付スヘシ

移轉先學校ニ於テハ缺員アル場合ニ限リ前項生徒ノ轉學ヲ許可スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ轉學ヲ許可スル生徒ハ試驗ヲ行ハスシテ同一學年ニ編入スルコトヲ得

第四十七條（三十五年第二號改正）各學年ノ課程ノ修了又ハ全學科ノ卒業ヲ認ムルニハ平素ノ

學業及試驗ノ成績ヲ考査シテ之ヲ定ムヘシ

但シ正當ノ事由アリテ試驗ニ缺席シタル者ニ對シテハ平素ノ學業ノ成績ノミヲ考査シテ之ヲ定ムルヿヲ得　但徵兵令第廿三條ノ關係ヲ有セサル者ハ此限ニ非ラス

試驗ハ分テ學期試驗及學年試驗トシ學期試驗ハ第一學期及第二學期內ニ於テ之ヲ行ヒ學年試驗ハ學年末ニ於テ之ヲ行フヘシ

但シ正當ノ事由アリテ試驗ニ缺席シタル者ノ爲特ニ追試驗ヲ行フコトヲ得

試驗ハ國語及漢文、外國語、數學、圖畫、唱歌、体操ニ就テハ之ヲ行ハサルコトヲ得

第五十條　補習科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ中學ヲ卒業シタル者タルヘシ

（三十六年廿八號補）補習科生徒ノ在學期間ハ中學校ヲ卒業シタル日ヨリ起算シ二箇年ヲ超ユルコトヲ得ズ　但徵兵令第廿三條ノ關係ヲ有セサル者ハ此限ニ非ラス

補習科ヲ修了シ又ハ退學シタル者補習科ニ再入學スルトキハ其ノ修了又ハ退學前ニ於ケル補習科在學ノ期間ハ之ヲ前項ノ期間ニ算入ス

第五十一條　學校長ハ左ノ各項ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スヘシ

一　性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二　學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三　引續キ一箇年以上欠席シタル者

四　正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上欠席シタル者

五　出席常ナラサル者

千葉縣立千葉中學校規則

縣立中學校學則

（明治廿九年三月縣令第三十二號）（四十二年三月縣令第一六號ニテ改正）

第一章　生徒定員及編制

第一條　千葉縣立中學校生徒ノ定員及編制左ノ如シ

千葉中學校	生徒	六百名	十四學級
佐倉中學校	同	四百名	八學級
佐原中學校	同	五百名	十一學級
成東中學校	同	五百名	十一學級
大多喜中學校	同	五百名	十一學級
木更津中學校	同	三百五十名	八學級
安房中學校	同	五百名	十一學級

第二章　學科課程教授時數及補習科

第二條　學科課程及每週教授時數ハ左表ノ如シ

學科課程及每週教授時數表

學科	第一年	第二年	第三年	第四年	第五年
修身	一 道德ノ要領	一 仝	一 仝	一 仝	一 仝 倫理學ノ一斑
國語及漢文	七 講讀、文法、作文、習字	七 仝	七 仝	六 講讀、文法、作文	六 仝 國文學史
外國語（英語）	六 發音、綴字、讀方、譯解、會話、書取、習字	六 讀方、譯解、會話、作文、書取	七 讀方、譯解、會話、作文、書取、文法	七 仝	七 讀方、譯解、書取、會話、作文
歷史及地理	三 日本歷史、日本地理、外國地理	三 日本歷史、外國地理	三 東洋歷史	三 西洋歷史	三 日本歷史、西洋歷史、地文
數學	四 算術	四 算術代數	四 幾何代數	四 仝	四 幾何三角法
博物	二 鑛物界	二 植物	二 動物生理	二 動物	
物理及化學			第一、二學期二 第三學期一	第一、二學期三 第三學期四 化學	四 物理
法制及經濟					二 法制經濟
圖畫	自在畫 二 仝	自在畫 二 仝	自在畫 三 用器畫 一 仝		
體操	三 普通體操 兵式体操 二 仝	三 仝	三 仝	三 仝	三 仝

計	二八	二八	二九	三〇	三〇

學校長ハ前表學年每週教授時數ヲ二時間增加シ必要ト認ムル學科目ニ配當ス

第三條　千葉、佐原及安房ノ各中學校ニ補習科ヲ置ク

第四條　補習科ノ學科目ハ國語及漢文、外國語（英語）歷史及地理、數學、博物、物理及化學ノ中ニ就キ學校長之ヲ定ム

前項ノ外千葉中學校ニ於テハ實業ニ關スル科目ヲ加フ

第五條　補習科ノ修業期間ハ每年四月ヨリ九月マテトシ其每週教授時數ハ二十四時以內トス　但シ實業ニ關スル科目ヲ加ヘタル補習科ノ修業期間ハ九月ヨリ翌年八月迄トシ其ノ每週教授時數ヲ三十時迄延長スルコトヲ得

第六條　補習科ヲ修メントスル者ハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

第三章　休業

第七條　休業日ハ左ノ如シ

一　祝　日

一　大祭日

一　學校紀念日

一　日曜日

一　春期四月一日ヨリ七日ニ至ル

一　夏期七月二十一日ヨリ九月十日ニ至ル
一　冬期ハ十二月二十六日ヨリ翌年一月七日ニ至ル

第四章　試驗

第八條　試驗ノ成績ハ點數ヲ以テ之ヲ判定ス

各學科ノ定點ハ一百トシ一學科五十點以上平均六十點以上ヲ得ルニアラサレハ進級又ハ卒業セシメス但シ一學科若ハ二學科ニ限リ五十點未滿四十點以上ナルモ其學科目ノ學年又ハ學期試驗ノ成績平均六十點以上ナル者ハ進級又ハ卒業セシムルコトアルヘシ

第九條　試驗ヲ要セサル學科目アルトキハ其平素ノ學業ヲ考査シ試驗點ニ代フヲ得

第十條　卒業者及補習科修了ノ者ニ與フル證書ハ左ノ如シ

卒業證書

何府縣華士族平民
氏　名
生年月日

校印

右ハ本校ノ科程ヲ修メ正ニ其業ヲ卒ヘタリ因テ茲ニ之ヲ證ス

千葉縣立何中學校長位勳氏名印
年月日
割印　番號

修了證書

何府縣華士族平民
氏　名
生年月日

校印

修了科目
何々何々
何々何々

右ハ前記ノ科目ニ付キ本校ノ補習科ヲ修了セリ因テ茲ニ之ヲ證ス

年月日

千葉縣立何中學校
割印　番號

第五章　入學退學及休學

第十一條　生徒ノ募集學級及人員等ハ學校長之ヲ廣告ス但シ他ノ中學校ヨリ轉學セントスル者ハ臨時入學ヲ許可スルヨトアルヘシ

第十二條　選援試驗ヲ行フトキハ其期日、合格、不合格及入學期日等ハ縣報ニ廣告

シ尚學校長ヨリ本人ニ通知ス

第十三條　入學志願者ハ左式ノ願書ニ履歴書戸籍謄本ヲ添ヘ學校長ニ差出スヘシ

但シ無試驗又ハ選拔試驗ニ依リ入學シ得ヘキ資格ヲ有スル者ハ小學校長ノ證明書ヲ添付スヘシ

入學願書　（用紙半紙）

私儀御校第何年級ニ入學志願ニ付御許可被成下度履歴書戸籍謄本（何々學校長）證明書相添ヘ父（兄）（後見人）連署ヲ以テ此段相願候也

本籍　府縣郡市町村番地
現住所　府縣郡市町村番地
華士族平民

年　月　日

本人　氏　名　印
生年月日

本籍　府縣郡市町村番地
現住所　府縣郡市町村番地
華士族平民

右父（兄）（後見人）　氏　名　印

千葉縣立何々中學校長氏名殿

履歴書　（用紙半紙）

生所　府縣郡市町村番地　氏　名

一何年何月ヨリ何年何月マテ何々學校ニ於テ何々修業
一何年何月何學校ニ於テ何々卒業
一何年何月ヨリ何年何月マテ何職業ニ從事ス
一何年何月何賞又何罰ヲ受ク
一何　々
右ノ通相違無之候也

年　月　日　右　氏　名　印

第十四條　入學ノ許可ヲ得タル者ハ其許可ノ日ヨリ十日以内ニ左式ノ在學證書ヲ差出スヘシ

保證人ノ印

在學證書　（用紙美濃紙）

印紙

私儀御校ヘ入學御許可相成候ニ付テハ在學中御規則命令堅ク遵守可致候也

本人　府縣郡市町村番地
　　氏　　名　印

現住所　府縣郡市町村番地

前書ノ通相違無之ニ付拙者保證人ニ相立チ御規則堅ク相守ラセ本人ニ關スル一切ノ事件ハ私ニ於テ引受ケ御命令ニ從ヒ處理致スヘク候仍テ證書差出シ候也

本籍　府縣郡市町村番地
現住所　府縣郡市町村番地
父(兄)(後見人)(親戚)
保證人　氏　　名　印
　　生年月日

年　月　日

千葉縣立何々中學校長氏名殿

第十五條　保證人ハ父兄後見人又ハ親戚中成年以上ノ男戸主ニシテ本人ニ關シ一切ノ責任ヲ負フニ足ルヘキ者タルコトヲ要ス

第十六條　保證人遠隔ノ地ニ住居スルトキ又ハ特別ノ事情アルトキハ學校所在地ニ住居スル成年以上ノ男戸主ニシテ本人ニ關シ一切ノ責任ヲ負フニ足ルヘキ者ヲ以テ代理保證人ト定メ雙方連署ノ上學校長ニ屆出ツヘシ

第十七條　學校長ニ於テ必要ト認ムルトキハ保證人又ハ代理保證人ヲ變更セシムルコトアルヘシ

第十八條　保證人又ハ代理保證人轉籍、轉居、氏名變更、改印等ノ場合ニ於テハ速ニ學校長ニ屆出ツヘシ

第十九條　保證人又ハ代理保證人ヲ變更シタルトキハ更ニ第十四條又ハ第十六條ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十條　生徒疾病又ハ事故ニ依リ缺課スルトキハ其事由ヲ詳記シ保證人又ハ代理保證人連署ヲ以テ學校長ニ屆出ツヘシ

第二十一條　生徒疾病又ハ事故ニ依リ退學セントスルトキハ其事由ヲ詳記シ保證人連署ヲ以テ學校長ニ願出ツヘシ

第二十二條　疾病ノ爲三箇月以上修學スルコト能ハサルカ爲休學セントスルトキハ保證人又ハ代理保證人連署ノ上當該學校醫又ハ治療醫ノ診斷書ヲ添ヘ學校長ニ願

出ツヘシ

休學ノ許可ヲ得タル者ハ次學年ノ始ヨリ原級ニ入リ修學スルモノトス

第六章　賞　罰

第二十三條　學校長ハ品行方正學術優秀ナル者ニ賞品又ハ褒狀ヲ與フ

前項ノ外賞スヘキ者アルトキハ授業料ノ一部ヲ免シ又ハ褒狀ヲ與フ

第二十四條　規則校訓ニ違背シ生徒タルノ本分ニ悖ルノ行爲アリタル者ハ其ノ狀情ニ依リ戒飭停學又ハ放校ニ處ス

第七章　授業料

第二十五條　授業料ハ一個月金壹圓六拾錢トシ在學中ハ出席ノ有無ニ拘ラス毎月十日マテニ之ヲ納メ特ニ期日ヲ指定シタルトキハ其期日マテニ之ヲ納ムヘシ但毎年八月ハ之ヲ徵收セス

休學ノ許可ヲ得タル者ハ其翌月ヨリ授業料ヲ納ムルヲ要セス

縣內中學校轉學ノ場合ニ於ケル授業料ハ前學校ニテ納付シタル月ハ後學校ニ於テ更ニ納付ヲ要セス

第二十六條　學校長ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタル者若ハ明治二十九年勅令第五號第一條第三條ノ事項ニ該當スル者ノ子弟ニ對シ授業料ヲ減免スルコトヲ得

第八章　寄宿舍

第二十七條　寄宿舍ニ入ラントスル者又ハ寄宿生ニシテ退舍セントスル者ハ保證人連署ノ上學校長ニ願出ツヘシ

第二十八條　學校長ハ自宅以外ヨリ通學スル者ニ入舍ヲ命シ又ハ寄宿生ニ退舍ヲ命スルコトアルヘシ

第二十九條　寄宿舍ハ夏期休業及冬期休業中之ヲ閉鎖ス

第九章　附　則

第三十條　本則施行ニ關スル細則ハ學校長之ヲ定ム

第三十一條　本則ハ明治三十九年四月一日ヨリ實施ス

明治三十四年五月千葉縣令第六十一號ハ本則施行ノ日ヨリ廢止ス

千葉縣立千葉中學校細則

明治三十五年一月改正

第一章　生徒心得

第一條　生徒ハ日常、左ノ各號ヲ服膺スヘシ

一智德ヲ淬勵シ身体ヲ健全ニシ以テ立身報國ヲ企圖スヘキコト

一信義ヲ守リ廉耻ヲ重ンシ質素ヲ旨トシ輕佻浮薄ノ風ヲ避クヘキコト

一師長ニ對シテハ恭敬ヲ旨トシテ苟モ倨傲不遜ノ行爲アルヘカラサルコト

一修學ノ序ヲ履ミ切問近思ヲ務ムヘキコト
一校内ニアリテハ喧噪粗暴ノ舉動ヲ慎ミ靜肅ヲ期スヘキコト
一校ノ内外ニ在ルヲ問ハス本校生徒タル体面ヲ汚ス所行アルヘカラサルコトシ

第二條　生徒ハ左ノ各項ヲ遵守スヘシ

一生徒ハ各學級ニ於テ五名以上十名以下ノ組合ヲ作リ誓約書ヲ差出スヘシ
一登校ノ時ハ本校ノ服制ニ據ルヘシ
一止ヲ得スシテ制服ヲ着スルコト能ハサル時ニハ代用服ヲ着用スヘシ
一猥リニ金錢物品ヲ貸借スヘカラス
一喫煙飲酒スヘカラス
一襟卷及日傘ハ一切用フヘカラス又雨雪ノ時ノ外ハ外套ノ頭巾ヲ被ルヘカラス
一外出スル時ニハ必ス制服制帽ヲ着クルカ若ハ制帽ヲ着ケ着袴スヘシ
一服裝ヲ正シクシテ野鼻放縱ノ態アルヘカラス
一建物器具等ヲ毀損シ又ハ汚瀆スヘカラス
一風紀ヲ亂ス虞アル場所ニ立入ルヘカラス
一掲示ハ三日ヲ過クレハ一般ニ知了シタルモノト看做スカ故ニ常ニ之ニ注意スヘシ

第三條　敬禮ハ左ノ式ニ從フヘシ

一敬禮ヲ行フニハ直立不動ノ姿勢ヲ取リ敬スヘキ人ニ注目シテ体ノ上部ヲ小シク前ニ傾クヘシ
一着帽ノ節敬禮ヲ行フニハ右手ヲ以テ帽ノ前庇ヲ執リ之ヲ垂直ニ下ケ其裏面ヲ右股ニ對セシメテ前項ノ式ニ據ルヘシ
一途上ニ於テハ敬禮スヘキ人ヨリ約六歩前ニテ姿勢ヲ正シ約三歩前ニ停止シ脫帽スヘシ
一教師教室ニ臨ムヤ級長ハ「直レ」ト令シ全員ヲ起立セシメ次ニ教師着席スルヤ級長式ノ如ク敬禮セシムヘシ其退出スル時モ亦同シ但級長副級長不在ノ時ハ上席ノ者之ニ代ルヘシ
一生徒相逢フトキハ下級ノモノ先ツ敬禮ヲ行フヘシ
一式場ノ敬禮ハ別ニ之ヲ定ム

第四條　教室ニ關スル規定左ノ如シ

一授業ノ終始ハ刺叭ヲ以テ之ヲ報ス
一始業ノ信號ニ依リテ教師ノ臨室ニ先タチ着席スヘシ
一授業時間ノ外ハ猥リニ教室及廊下ニ在ルヘカラス
一教室ニ在リテハ姿勢ヲ正シク言語ヲ明瞭ニスヘシ
一質問セント欲スルトキハ擧手シテ教師ノ許可ヲ受ケ起立ノ上發言スヘシ教師ノ

試問ニ答フルトキモ亦起立スヘシ

一教場ニアリテハ教師ノ許可ヲ得スシテ發言又ハ座席ヲ離ルヘカラス

一教室ノ備附品ヲ恣ニ使用シ又ハ移動スヘカラス

一所定ノ時間ニ後レタルトキハ其事由ヲ受持教師ニ申出テ指揮ヲ受クヘシ

一授業中ハ教師ノ許可ヲ得スシテ文書又ハ物品ヲ授受スル等ノ事アルヘカラス

第五條　願届ニ關スル規定左ノ如シ

一總テ願書ハ事務所ニ届書ハ學級主任ニ差出スヘシ

但シ願書ハ學校長宛届書ハ學校宛ニ認ムヘシ

一願書及届書ニハ必ス代理保證人ノ連署ヲ要ス

一學級一同ニ關スル事件ハ總テ級長ヨリ主任ニ申出ツヘシ

一生徒二十名以上協同シテ會ヲ設ケ又ハ臨時ニ會ヲ開カントスルトキニハ總代二名ヨリ豫メ教務部ニ届出ツヘシ

但常設ノ會ニアリテハマツ其規則ノ認可ヲ請クヘシ

一欠席及遲刻ハ其都度操行得點ヨリ各一點ヲ減ス

一闕課届ハ闕課セシ日ヨリ三日以内ニ差出スヘシ

但期限ニ差出サヽルトキハ無届闕課ト看做ス

一無届闕課セシモノニハ更ニ一回毎ニ操行得點ヨリ三點ヲ減ス

一登校後半途ニシテ闕課セントスルトキハ其事由ヲ口頭ニテ其受持教師ニ申出テ更ニ前項ノ手續ヲ履ムヘシ

一自己又ハ父兄等ノ疾病ノ爲メニ闕課一週日以上ニ及フモノハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘテ届出ツヘシ

一身分又ハ宿所ノ移動ヲ生シタルトキハ直ニ届出ツヘシ

第二章　役員

第六條　各學級ニ級長副級長各一名ヲ置ク其職務及心得左ノ如シ

一級長ハ學校ノ指揮ヲ受ケテ學級内ノ事務ニ參ス

一副級長ハ級長ノ事務ヲ助ケ又級長ニ事故アルトキニハ其代理ヲナス

一級長副級長ハ其學友ノ模範トナリ其親睦切磋ニ注意スヘシ

一其學級ニ起リタル事件ハ其都度學級主任ニ申出ツヘシ

一前項ノ外臨機ニ學校ノ指揮ヲ受ケテ事ヲ處理スヘシ

第七條　級長副級長選定ニ關スル規定左ノ如シ

一級長副級長ハ各學級ニ於テ四名ノ候補者ヲ記名投票ヲ以テ選擧セシメ其中ニ就キテ校長之ヲ選任ス

但第一學年級々長副級長ハ入學ノ當時學校長特ニ之ヲ選任シ其任期ヲ四ヶ月トシ任期滿チシ後本文ノ手續ニ據ラシム

一級長副級長選擧ノ手續ニツキテハ學級主任ノ指揮ヲ受クヘシ

一級長副級長ノ任期ハ一學年間トス

但前任者ヲ再選スルコトヲ得又學校長ノ見込ニ因リテハ任期内ト雖改選セシムルコトアルヘシ

一級長副級長ハ校長ニ於テ相當ノ事由アリト認ムルニアラサレハ任期中ニ辞退スルコトヲ許サス

第三章　服制

第八條　生徒ノ服制ヲ定ムルコト左ノ如シ

但新入學生徒ニ限リテ五月三十一日迄ハ之ニ據ラサルモ妨ケナシ

		地質	製式	形狀	備考
帽章	金屬	「中」字形ニ葛葉模樣ヲ附ク	如圖	如圖	學校ニテ之ヲ製シ生徒ニ貸與ス
冬服 帽（廿七年九月改） 第一種		黑羅紗	海軍形帽ニシテ黑色ノ眉庇及顎紐ヲ附ケ且白紐ヲ卷ク	如圖	夏季ハ日覆ヲ附ク（自六月一日至九月廿日）
冬服 帽 第二種		麥藁	普通形ニシテコゲ茶色ノ鉢卷ニ白線一條ヲ付ス	如圖	夏季休業中ニ限リ之ヲ用フ
冬服 上衣	黑ヘルト地或ハ紺小倉地	紺又ハ黑羅紗	長ジヤケツト製、髖骨ヨリ兩股ノ下端ヲ裂クコト凡三寸、胸一重扣鈎ニテ留ム、全緣巾三分ノ黑毛緣チ附ク物入ハ内右部ニ一個、外左部ニ一個チ附ク	如圖	武裝ヲナス生徒ハ左側ニ劍止ヲ附クトモ妨ナシ裏地ノ有無隨意ナレドモ派手ナルヲ用フベカラズ
冬服 袴	紺小倉地	紺又ハ黑羅紗	普通ノ製式	如圖	竪襟、胸部前、後面ノ裾ヲ裂キ胸部ニ「中」ノ扣紐ヲ六箇ツヽ二行ニ附ク　頭巾附	片前外套ヲ用ヒテモ妨ナシ裏ノ有無ハ隨意ナレドモ派手ナルヲ用フヘカラス

夏服	霜降	上衣	冬服ニ同ジクレトモ緣及裏ヲ附クス	冬服ニ同ジ	自六月一日至九月廿日
夏服	小倉地	袴	普通ノ製式		
襟章	金屬	學年相當ノ羅馬數字形	如圖	購求方ハ學校ニ申出ツヘシ	
外套	紺又ハ黑紗羅	竪襟、胸部前、後面ノ裾ヲ裂キ胸部ニ「中」ノ扣紐ヲ六箇ツヽ二行ニ附ク　頭巾附	如圖	片前外套ヲ用ヒテモ妨ナシ裏ノ有無ハ隨意ナレドモ派手ナルヲ用フヘカラス	
靴		兵隊靴			
甲掛	白麻	白鈎ニテ留ム			

第九條　制服ノ調製ニ關シテハ學校ノ指揮ヲ受クヘシ

第十條　制服ヲ着用シ難キ場合ニアリテハ和服着袴ヲ代用服トシテ用フルコトヲ許ス

但代用服ヲハ諸儀式、体操科授業時間、修學旅行ノ時ニハ着用スルヲ許サズ

第四章　試驗

第十一條　學期試驗ハ第一學期第二學期末ニ於テ試驗期日ヲ豫定シ其學期間教授シタル事項ニ就キテ之ヲ行フ

第十二條　學年試驗ハ學年末ニ於テ試驗期日ヲ豫定シ一學年間教授シタル事項全体

ニ就キテ之ヲ行フ

第十三條　試驗ノ評點ハ修身、國語講讀、作文、文法、習字、漢文講讀、歷史、地理、算術、代數、幾何、物理、化學、博物、法制經濟、圖畫及体操ハ各一科トシ外國語ハ「書取、習字、會話」「作文、文法」「讀方、譯解」ノ三科トシ一科每ニ百點ヲ以テ定點トス尙生徒平素ノ操行ニ由リ別ニ操行點ヲ加フ

第十四條　左ノ學科ニ限リテ學年試驗及學期試驗ヲ施行セズ日常授業ノ時ノ學力ヲ檢定シテ評點ヲ付スルコトヲ得

作文、文法、習字、書方、書取、會話、体操、圖畫ノ內ノ自在畫

但他ノ學科ト雖教員ノ見込ニヨリ學力ヲ檢定シ得ルモノハ學校長ノ認可ヲ得レバ試驗ヲ施行スルコトヲ要セス

第十五條　「削除」

第十六條　操行ニ關スル評點ハ教員協議ノ上學校長ノ認可ヲ經テ之ヲ定ム

第十七條　各學科ノ學期評點ハ平常點ト學期試驗點トヲ平均シタルモノトヲ以テ之ヲ定ム

第十八條　各學科ノ學年評點ハ第一學期第二學期ノ評點ト學年試驗點トヲ加ヘテ三分シタルモノトス但第三學期ノ平常點ハ學年試驗ノ成績ニ參酌スルモノトス

第十九條　學期試驗ニ缺席セシ者ニハ詮議ノ上其學科ノ見込點若干ヲ付スルコトヲ得

第二十條　學年試驗ニ缺席セシモノニシテ追試驗ヲ出願スルトキハ詮議ノ上學校長ノ認可ヲ經テ許否ヲ定ム

但出願ノ期日ハ試驗終了後一週間以內トス

第二十一條　追試驗ヲ行ヒ又ハ見込點ヲ付スル場合ニアリテハ該科ノ得點ヨリ各十分ノ二ヲ減ス

第二十二條　追試驗ノ期日ハ學校長之ヲ定ム

第二十三條　試驗評點ハ一切公示セス

但各學期末ニ於テ五十點未滿ノ學科アルトキハ學級主任ヨリ其生徒ニ特ニ注意ヲ爲ス

第二十四條　各學期末及學年末ニ成績ヲ調査シテ學期末ニアリテハ其學級ニ於テ學年末ニアリテハ同一學年ヲ通ジテ席順ヲ定ム

第二十五條　試驗ノ日限及時間割ハ學校長之ヲ定メテ學期試驗ハ三日前ニ學年試驗ハ凡一週日前ニ掲示スヘシ

第二十六條　試驗問題及其數幷ニ時間數ハ受持教師之ヲ定メ教務主幹ヲ經テ學校長ノ認可ヲ得ベシ

第二十七條　試驗ノ方法ハ筆記ヲ主トスト雖モ是ニ依リ難キ學科ハ口述或ハ實地ニ就テスベシ

第二十八條　試驗問題ノ意義ニ就テハ質問スルコトヲ一切許サズ

第二十九條　試驗場ニハ受驗用以外ノ物ヲ携帶スルコトヲ一切許サズ

第三十條　試驗用紙ハ學校ヨリ之ヲ給ス

但答案ヲ記スルニ特別ノ許可アル場合ヲ除キテハ半紙ニハ毛筆墨ヲ用ヒ洋紙ニハ「ペン」「黑インキ」ヲ用フベシ

第三十一條　受驗上不正ノ行爲アリト認ムル時ニハ受持教師ノ見込ニ依リテ學校長ノ認可ヲ經テ其學科評點ヲ減ジ又ハ零點トシテ更ニ相當ノ罰ヲ課ス

但試驗場ニ於テ本條ノ行爲ヲ認メタル時ハ直ニ退場ヲ命ス

第三十二條　試驗評點ノ單位未滿ハ四捨五入ノ法ヲ以テ算定ス

第三十三條　同學級ニテ落第二回ニ及フ者ハ退學セシムルコトアルヘシ

第三十四條　學期試驗及學年試驗ノ後ニハ成績ヲ保證人ニ通知ス

第五章　入學、在學、退學

第三十五條　入學志願者ニハ總テ体格檢査ヲ施行ス

第三十六條　入學ノ許可ハ之ヲ公示シ其許可ノ日ヨリ在學者ト認ム

第三十七條　入學ノ許可ヲ得タル者ハ本縣學則ニ定メタル在學證書ニ保證人印鑑ヲ添ヘテ差出スヘシ期限内ニ之ヲ差出サヽル者ハ退學セシム

第三十八條　保證人ハ必ス本校教員中ノ一人ヲ代理保證人ト定メ特ニ生徒ノ監督指導ヲ請ヒ在學證書ト同時ニ左式ノ屆書ヲ差出スヘシ

代理保證人屆　（用紙美濃）

千葉縣立千葉中學校教員何某ヲ以テ拙者代理保證人ト相定メ候

此段御屆申上候也

何府縣何市郡何町村大字何、何番地

華士族平民　何某保證人　氏　名　印

前書之趣相違無之ニ付拙者代理保證人ニ相立チ何某在學中御規則書令堅ク相守ラセ本人ニ關スル事件一切引受可申候也

現住所　氏　名　印

千葉縣立千葉中學校長何某殿

第三十九條　授業料ヲ期日迄ニ納メザルトキニハ授業ヲ停止シテ保證人ヨリ納メシム其滯納十五日以上ニ及フトキハ退學セシムルコトアルヘシ

第四十條　疾病其他止ムヲ得サル事故アリテ退學セントスルモノハ其事由ヲ詳記シ保證人及代理保證人連署ヲ以テ願出ツヘシ

但病氣退學ノ場合ニハ醫師ノ診斷書ヲ要ス

第六章　賞　罰

第四十一條　「削除」

第四十二條　特ニ善行アルモノ又ハ役員任期中能ク其任ヲ盡シタルモノ等ニハ褒賞ヲ授與ス

第四十三條　「削除」

第四十四條　總ベテ罰ニ處シタル場合ニアリテハ其情狀ニ因リテ操行點若干ヲ減ズ

第四十五條　學校ノ建物器具標本等ヲ毀損シ又ハ亡失セシトキニハ其情狀ニ因リテ相當ノ賠償ヲナサシム

第四十六條　總テ賞罰ハ校内ニ掲示シ且之ヲ保證人ニ通知ス

千葉縣立千葉中學校敬義寮規則

明治三十五年一月

第一章　總　則

第一條　本校寄宿舍ヲ敬義寮ト名ヅク

第二條　本寮ハ父兄ニ代ハリテ生徒ヲ薫陶保育スル所トス

第三條　本寮生徒ノ薫陶保育ハ學校長ノ命ニヨリテ舍監其任ニ當ルモノトス

第四條　本寮生徒タルモノハ當校ノ諸規則命令ヲ遵守スベキハ勿論常ニ舍監ノ指導ニ從ヒテ學德ノ修養ヲ務ムベシ

第五條　寮友ハ相扶助シテ各其德操ヲ進メ能ク親和シテ家族的良風ヲ作ランコトヲ務ムベシ

第六條　寮内ニテハ晨起就寢食事外出等ノ時間其他總ベテ規定示達ヲ守ルベシ但其時間ハ時々掲示スベシ

第七條　寮内ニテハ切ニ金錢物品ノ貸借及贈遺ヲナスコトヲ許サズ

第八條　學資金ハ生徒學資金出納手續ニ從ヒ總ベテ舍監ニ預ケ置クベシ各自所持スルコトヲ許サス

但市内親戚等ヘ預ケ置クハ妨ゲナキモ其出納ハ必舍監ノ檢印ヲ要スベシ

第九條　寮内ニテハ必要ナル物品ノ外ハ所持スルコトヲ許サス

第三章　入寮、退寮

第十條　入寮セント欲スルモノハ左ノ書式ノ願書ヲ差出スベシ

但入寮ヲ命ゼラレタルモノハ此限ニアラス

入　寮　願

本籍及寄留

私儀入寮致度候ニ付御許可被成下度保證人及代理保證人連署ヲ以テ此段奉願候也

年　月　日

何誰子弟又ハ戸主
何年級何組生徒　何　某印

右願ノ通リ御許可相成候上ハ本人ニ關スル一切ノ事件ハ拙者ニ於テ引受可申候也

住　所
保證人　何　某印
代理保證人　何　某印

千葉縣立千葉中學校長何某殿

第十一條　一旦入寮シタルモノハ叨ニ退寮スルコトヲ許サス
但若シ退寮セントスルトキハ其事由ヲ詳記シ保證人及代理保證人ノ連署ヲ以テ願出スヘシ病氣退寮ノ塲合ニハ醫師ノ診斷書ヲ要ス

第三章　居　室

第十二條　自習時間中ハ音讀スルコトヲ許サス
第十三條　室内ノ座席及物品ノ配置等ハ總テ舍監ノ指揮ニ從フヘシ
第十四條　舍監ノ許可ヲ得スシテ他室ニ往來シ又ハ小使賄人ヲ使役スヘカラス
第十四條　通學生及外來人等ニハ必應接所ニテ面會スヘシ

但病室ニアリテ面會セシト欲スルトキハ舍監ノ許可ヲ受クヘシ
第十六條　洋燈火鉢等ノ取扱ハ危險ナキ樣深ク注意スヘシ
第十七條　消燈後ハ努メテ靜謐ヲ旨トシ他ノ安眠ヲ妨クヘカラス
第十八條　定時外ニ就褥セントスルモノハ舍監ノ許可ヲ受クヘシ

第四章　外　出

第十九條　平日ハ放課後ヨリ休業日ハ朝食後ヨリ門限時マテ隨意外出ヲ許ス
但臨時外出セント欲スルモノハ其許可ヲ受クヘシ
第二十條　外出中發病其他止ムヲ得サル事故ニヨリテ門限時ニ後レタルトキハ其旨ヲ詳記シタル代理保證人ノ證明書又ハ其事ニ關係セル者ノ證明書ヲ得テ歸寮スヘシ
第二十一條　歸省セント欲スル者ハ其事由ヲ詳記シテ豫メ願出ツヘシ
但歸寮ノ節ハ到着及出發ノ日時ヲ記入シタル證明書ヲ持參スヘシ
第二十二條　課業ニ缺席シ又ハ人員檢査ニ缺列シタル者ハ其日若クハ其翌日外出ヲ許サス
但受診等ノ爲メニ外出ヲ要スル塲合ハ願ニ因リテ許スコトアルヘシ

第五章　食　事

第二十三條　食堂ニ入リテハ各自ノ定席ニ就クヘシ

第二十四條　食時以外ニ食堂ニ入リ又ハ私ニ食物ヲ調理シ若クハ賄人ニ命スルコトヲ許サス

第二十五條　賄人小使ニ不都合アリト認メタルトキハ其旨舍監ニ申出ツヘシ私ニ交渉スルコトヲ許サズ

第二十六條　病室ニアリテ食事ヲ爲サントスルモノハ舍監ノ許可ヲ受クベシ

第六章　掃除、浴室

第二十七條　身体居室ハ常ニ清潔修整ヲ旨トシテ健康ト秩序トヲ保タンコトヲ務ムベシ

第二十八條　室内ノ掃除ハ毎朝之ヲ行ベシ

第二十九條　毎月數回各室内外ノ大掃除ヲ爲サシム

第三十條　浴室ニアリテハ喧噪ナル擧動見苦シキ行爲アルベカラズ

第七章　檢査

第三十一條　檢査ヲ分チテ左ノ三種トス

一　人員檢査

一　清潔檢査

一　物品檢査

第三十二條　人員檢査ハ毎日晨起就褥ノ際ニ其人員ヲ檢査スルモノトス但臨時檢査ヲ行フコトアルベシ

第三十三條　清潔檢査ハ室ノ内外及衣類等ニ就キテ臨時ニ檢査スルモノトス

第三十四條　物品檢査ハ生徒ノ所有品及貸與品ニ就テ臨時檢査スルモノトス

第八章　疾病

第三十五條　病氣ニ罹リテ醫師ノ治療ヲ受クル者ハ直ニ舍監ニ屆出ツヘシ

第三十六條　病氣ノ爲歸宅療養セント欲スルモノハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘテ願出ツヘシ

第九章　部長、副部長

第三十七條　寮生ヲ數部ニ分チテ各部ニ部長副部長各一人及毎室ニ室長一人ヲ置ク

第三十八條　部長副部長ハ舍監ノ推薦ニ由リテ學校長之ヲ命ジ其任期ヲ一學年間トス

第三十九條　部長ハ舍監々督ノ下ニ寮友ノ親睦ヲ圖リ且ツ左ノ事項ヲ掌ルモノトス

一　部内ノ整理

一　部員ノ監督

一　命令ノ傳達

一　部員ノ願屆ニ加印

第四十條　副部長ハ部長ノ職務ヲ補ケ且部長差支アルトキハ之ニ代ハルモノトス

第十章　懲　罰

第四十一條　操行修ラズ又ハ屢諸規則命令ニ違犯スルモノハ左ノ諸項ニ依リテ處分ス

一　譴　責
一　禁　足
一　退　寮

第四十二條　禁足ヲ命セラレタル者ハ其期間他室ノ者ト交通スルコトヲ許サス

公立中學校職員名稱待遇及任免

明治二十四年十二月勅令第二四四號抄錄

第一條　公立中學校職員ノ名稱左ノ如シ

學　校　長
教　諭
助　教　諭
舍　監（寄宿舍ノ設ケアル學校ニ限ル）
書　記

第二條　學校長、教諭、助教諭、書記ハ判任文官ト仝一ノ待遇ヲ受ク但シ學校ノ等位種類等ニヨリ學校長及教諭三名以内ハ特ニ奏任文官ト仝一ノ待遇ヲ受クシムルコトアルベシ

第三條　奏任文官ト仝一ノ待遇ヲ受クル職員ノ任免ハ文部大臣之ヲ奏薦宣行シ判任文官ト仝一ノ待遇ヲ受クル者ハ府縣知事之ヲ專行ス

千葉縣立中學校職員職務規程

明治三十八年三月訓令甲第十四號

第一章　職　制

第一條　學校長ハ知事ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ統督ス

第二條　學校長事故アルトキハ首席教諭其ノ職務ヲ代理ス
前條ノ場合ニ於テ首席教諭事故アルトキハ首席教諭ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第三條　教諭ハ生徒ノ教育ヲ掌ル

第四條　助教諭ハ教諭ノ職掌ヲ助ク

第五條　舍監ハ學校長ノ命ヲ承ケ寄宿舍ニ關スル事ヲ掌ル

第六條　書記ハ學校長ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

第七條　本章ノ規程中第一條及第三條乃至第六條ハ師範學校ニ適用セス

第二章　處務

第八條　學校長ハ左ニ掲クル事項ニ付キ意見アルトキハ知事ニ具申スヘシ

一　職員ノ進退及賞與ニ關スル事

二　諸規則ノ新定變更及廢止ニ關スル事

三　校舍ノ建築ニ關スル事

四　土地建物ノ借受及返還ニ關スル事

第九條　學校長ハ左ニ掲クル事項ニ就テハ處分ノ後知事ニ報告スヘシ但師範學校生徒退學處分ニ屬シテハ豫メ指揮ヲ受クヘシ

一　教諭以下職員ノ出張、除服ニ關スル事

二　雇員ノ進退ニ關スル事

三　校內ニ施行スヘキ規則細則等ノ新定變更及廢止ニ關スル事

四　生徒修學旅行ニ關スル事

五　生徒賞罰ニ關スル事

六　生徒授業料減免ニ關スル事

七　生徒、講習員募集、入學退學轉學及休學ニ關スル事

八　生徒、講習員、學業證書授與ニ關スル事

第十條　學校長出張セントスルトキハ知事ノ許可ヲ受クヘシ但シ分校ヘ出張ニ關シテハ處分ノ後報告スルコトヲ得

第十一條　職員出張ヲ命セラレ歸校シタルトキハ五日以內ニ學校長ハ知事其ノ他ハ學校長ニ復命書ヲ差出スヘシ但シ簡單ナル事項ハ口頭陳述スルコトヲ得

第十二條　學校長ハ毎月十日マテニ其ノ前月中ノ職務勤務表及月末ノ學級數、毎學級生徒數ヲ知事ニ申報スヘシ

第三章　服務

第十三條　職員新任ノ者ハ着任七日以內ニ履歷書二通ヲ製シ一通ハ知事ニ一通ハ學校長ニ差出スヘシ

第十四條　職員ハ學校所定ノ時間ニ昇校シ出勤簿ニ捺印スヘシ

第十五條　職員兵役、官衙ノ召喚、交通遮斷、疾病又ハ女子ニシテ懷姙出產ノ爲メ出勤シ難キトキハ其ノ事由ヲ記シ學校長ニ屆出其ノ他私事ノ故障ニ係ルモノハ許可ヲ受クヘシ

疾病缺勤二週日以上ニ亘ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ屆出爾後一週日毎ニ同樣屆出ツヘシ

第十六條　職員忌服、父母ノ疾病看護、父母ノ祭日ノ場合ニ於テ出勤セサルトキハ其日數ヲ記シ學校長ハ知事其ノ他ハ學校長ニ屆出ツヘシ

歸省、墓參、又ハ轉地療養等ノ爲メ任地ヲ離レントスルトキハ其ノ事由及日數ヲ

第二章　處務

第八條　學校長ハ左ニ掲クル事項ニ付キ意見アルトキハ知事ニ具申スヘシ

一　職員ノ進退及賞與ニ關スル事

二　諸規則ノ新定變更及廢止ニ關スル事

三　校舍ノ建築ニ關スル事

四　土地建物ノ借受及返還ニ關スル事

第九條　學校長ハ左ニ掲クル事項ニ就テハ處分ノ後知事ニ報告スヘシ但師範學校生徒退學處分ニ屬シテハ豫メ指揮ヲ受クヘシ

一　教諭以下職員ノ出張、除服ニ關スル事

二　雇員ノ進退ニ關スル事

三　校內ニ施行スヘキ規則細則等ノ新定變更及廢止ニ關スル事

四　生徒修學旅行ニ關スル事

五　生徒賞罰ニ關スル事

六　生徒授業料減免ニ關スル事

七　生徒、講習員募集、入學退學轉學及休學ニ關スル事

八　生徒、講習員、學業證書授與ニ關スル事

第十條　學校長出張セントスルトキハ知事ノ許可ヲ受クヘシ但シ分校ヘ出張ニ關シテハ處分ノ後報告スルコトヲ得

第十一條　職員出張ヲ命セラレ歸校シタルトキハ五日以內ニ學校長ハ知事其ノ他ハ學校長ニ復命書ヲ差出スヘシ但シ簡單ナル事項ハ口頭陳述スルコトヲ得

第十二條　學校長ハ每月十日マテニ其ノ前月中ノ職務勤務表及月末ノ學級數、每學級生徒數ヲ知事ニ申報スヘシ

第三章　服務

第十三條　職員新任ノ者ハ着任七日以內ニ履歷書二通ヲ製シ一通ハ知事ニ一通ハ學校長ニ差出スヘシ

第十四條　職員ハ學校所定ノ時間ニ昇校シ出勤簿ニ捺印スヘシ

第十五條　職員兵役、官衙ノ召喚、交通遮斷、疾病又ハ女子ニシテ懷姙出產ノ爲メ出勤シ難キトキハ其ノ事由ヲ記シ學校長ニ屆出其ノ他私事ノ故障ニ係ルモノハ許可ヲ受クヘシ

疾病缺勤二週日以上ニ亘ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ屆出爾後一週日每ニ同樣屆出ツヘシ

第十六條　職員忌服、父母ノ疾病看護、父母ノ祭日ノ場合ニ於テ出勤セサルトキハ其日數ヲ記シ學校長ハ知事其ノ他ハ學校長ニ屆出ツヘシ

歸省、墓參、又ハ轉地療養等ノ爲メ任地ヲ離レントスルトキハ其ノ事由及日數ヲ

記シ學校長ハ知事其ノ他ハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ但シ歸省ノ二週日以上ニ亘ルモノ及轉地療養ニ關シテハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

學校休業中旅行セントスルトキハ其ノ日數及場所ヲ記シ學校長ハ知事其ノ他ハ學校長ニ屆出ツヘシ

第十七條　教諭以下職員ニシテ前各條缺勤ノ場合ニハ其ノ擔任事務中至急處理ヲ要スルモノハ同時ニ其ノ處理ノ見込ヲ附シ學校長ニ申出ツヘシ

第十八條　職員族籍、氏名ヲ變更シタルトキハ知事ニ屆出ツヘシ

第十九條　職員轉任、退職又ハ休職ヲ命セラレタルトキハ三日以內ニ其ノ事務ヲ後任者又ハ代理者ニ引繼キ授受者連署ノ上學校長ハ知事其ノ他ハ學校長ニ屆出ツヘシ

第二十條　職員其ノ職務以外他ノ教育事業ニ從事セントスルトキハ其ノ事由ヲ記シ學校長ハ知事其ノ他ハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十一條　凡ソ圖書文書機械器具等ハ學校長ノ許可ヲ受クルニ非ラサレハ外人ニ示シ又ハ貸與スルコトヲ得ス

第二十二條　近火暴風其ノ他非常ノ事變アル場合ニ於テハ職員一同速ニ昇校シ學校長ノ指揮ヲ受クヘシ若シ急遽ニシテ指揮ヲ受クル遑ナキトキハ臨機ノ處置ヲ爲スヘシ但シ災害ノ自己ニ迫ル者ハ此限ニアラス

前項ノ場合ニ於テ學校長ハ其ノ顚末ヲ具シ知事ニ報告スヘシ

第二十三條　傳染病ノ爲メ全校若ハ其ノ一部ノ閉鎖ヲ要スルトキハ學校長ハ其ノ情況及豫防消毒ノ方法ヲ具シ知事ニ屆出ツヘシ

第二十四條　學校長ハ職員中當直ヲ置キ校內ノ取締ヲ爲サシムヘシ

第二十五條　教諭以下職員ヨリ知事ニ差出スヘキ書類ハ總テ學校長ヲ經由スヘシ

第二十六條　教諭以下職員ニ關スル事務ノ分掌ハ學校長之ヲ定ム

第二十七條　本規程ニ明文ナキ事項ハ學校長ニ於テ便宜處分ノ後知事ニ報告スヘシ

但シ重要ナル事項ニ關シテハ豫メ指揮ヲ受クヘシ

第二十八條　本規程施行ニ關スル細則ハ學校長之ヲ定ム

第四章　附則

第二十九條　本規程ハ明治三十八年四月一日ヨリ施行ス

第三十條　明治三十四年六月本縣訓令甲第五十九號ハ本規程施行ノ日ヨリ廢止ス

千葉縣立千葉中學校職員處務細則

第一章　校務分掌及役員

第一條　校務ヲ分チテ教務部事務部及監督部ノ三トス

第二條　各部ニ役員ヲ定ムルコト左ノ如シ

一　敎務部

敎務主幹	一名	敎員ヨリ任命ス
學級主任	若干名	仝上
學級主任長	五名	主任ヨリ任命ス
校內取締	若干名	体操敎員ヲ以テ任命ス
敎務書記	一名	敎員若クハ書記ヨリ任命ス

二　事務部

庶務主任	一名	敎員ヨリ任命ス
圖書主任	一名	仝上
會計主任	一名	書記ヨリ任命ス
庶務掛	若干名	仝上
圖書掛	一名	敎員又ハ書記ヨリ任命ス
會計掛	若干名	書記ヨリ任命ス

三　監督部

寮務主任	一名	舍監ヨリ任命ス
校外監督主任	一名	敎員ヨリ任命ス
校外監督	若干名	体操敎員ヨリ任命ス

第三條　敎務主幹ハ校長ノ指揮ヲ受ケ左ノ事務ヲ管シ敎務書記ハ之ヲ助ク

一　敎室及生徒扣所ニ關スル一切ノ事件

一　生徒ノ訓練ニ關スル諸般ノ事件

一　生徒ノ入學轉學及退學等ニ關スル件

一　敎務上ノ諸計畫ニ關スル件

一　儀式

第四條　學級主任ハ敎務主幹ニ屬シテ左ノ事務ヲ掌ル

一　擔當學級生徒ヲ薫陶監督及誘導スルコト

一　其學級ノ敎室ヲ管理スルコト

一　其學級生徒ノ勤怠賞罰及試驗成績ニ關スルコト

第五條　校內取締ハ敎室廊下及生徒控所運動場等ノ秩序ヲ維持スルノ責ニ任ス

第六條　敎員ハ每學期ノ始ニ於テ敎授細目ヲ立案シ受持學科ノ敎授ヲ豫定シ進度表ニ記入シ更ニ學期末ニ至リ實際ノ進度ヲ記入スヘシ

第七條　体操科敎員ハ專ラ生徒ノ躬行ヲ正シテ風紀及校紀ヲ維持シ生徒ノ体育訓練隊伍ノ編成体格檢査又入學志願者体格試驗ノ任ニ當ル

第八條　事務部各主任ハ所屬各掛ヲ指揮シテ左ノ事務ヲ管ス

庶務

一諸般文書ノ往復
一諸報告ノ調整
一學校衛生ニ關スルコト
一職員及生徒ノ身分ニ關スルコト
一他部ノ事務ニ屬セザル一切ノ事項

圖書

一圖書ノ保存出納及整頓ニ關スルコト
一圖書ノ目錄編纂及帳簿ノ整頓ニ關スルコト
一圖書ノ貸付ニ關スルコト

會計

一豫算及決算ニ關スルコト
一會計並ニ金錢ノ出納ニ關スル一切ノ事項
一備品及消耗品等ノ保管及出納
一土地建物等ノ管理及營繕
一校内ノ掃除警備等
一使丁及役夫等ノ進退及監督

第九條　監督部役員ノ分掌スル事務左ノ如シ

寮務

一寮ノ秩序ト清潔トニ關スルコト
一在寮生徒ノ學資金保管ニ關スルコト
一寮ノ警備賄及使丁ニ關スルコト

校外監督

一一般ニ校外生徒ノ風紀ヲ維持スルコト

附則

第十條　前條ノ外教務部ニ於テハ教務掛ヲ置キ教務主幹ノ事務ヲ補佐セシムルコトアルヘシ

第二章　校務取扱手續

第十一條　校務取扱手續ヲ定ムルコト左ノ如シ

一各部主務者ハ校長ノ命ヲ受ケテ各其所管ニ屬スル事件ヲ處理シ其關係ヲ他ニ及ホス事件ニ付テハ當該主務者ニ協議又ハ通知スヘシ
二各主務者ニ於テハ處理シタル事件ニシテ一般職員ニ通知スルヲ要スル事件ハ速ニ其手續ヲ了スヘシ即チ後日ノ慣例トナルベキ事件又ハ重大ナル事件ハ各主務者ニ備置セル通知簿ニ記載シテ回覽ニ付シ然ラザルモノハ口頭ヲ以テシ又ハ職

員室ニ掲示スル等ノ便宜ニ從フベシ

通知簿ニハ一般職員ノ捺印ヲナスヘキ餘白ヲ存スヘシ

三一般職員ハ校務ニ關シテハ直接ニ當該主務者ニ交渉スヘシ但シ特殊ノ必要アルモノヲ除ク外文書ニヨルヲ要セス

四校内監督、校外監督ハ時々内外ニ於ケル生徒ノ實況ヲ校長及教務主幹ニ報告スヘシ

第十二條　各部事務取扱手續ハ各主務者ニ於テ之ヲ定ムルコトヲ得

圖書借用規程

明治三十五年四月追加

第一條　圖書ノ交附及ヒ受納ハ總テ圖書出納掛ニ於テ之ヲ取扱フ

出納掛ノ手ヲ經スシテ圖書ヲ出入スルヲ得ス

第二條　職員ハ圖書室ニ入リテ圖書ヲ捜索スルコトヲ得

第三條　圖書ヲ捜索シタルトキハ必ズ之ヲ舊位ニ復シ置クヘシ

第四條　借用ノ手續ヲ了スルニ非サレバ圖書ヲ室外ニ帶出スルヲ得ズ

第五條　圖書ヲ借用セントスルトキハ其旨ヲ出納掛ニ申出テ圖書借用簿ニ記入捺印シタル上該圖書ヲ出納掛ヨリ受取ルヘシ

第六條　參考用圖書ト雖モ直接受持ノ學科ニ屬セザル部門ノモノハ其學科受持教員ノ中ニ就テ承諾ヲ得ルヲ要ス

第七條　借用シタル圖書ヲ返納セントスルトキハ該圖書ヲ出納掛ニ交付シ借用簿ノ返納欄内ニ月日ヲ記入シテ出納掛ノ認印ヲ受クヘシ

第八條　教授上必要ノタメ又ハ其他ノ理由ニヨリ一時圖書ヲ室外ニ帶出セントスル時ハ一時帶出簿ニ書名ヲ記入シテ出納掛ニ差出シ該圖書ノ交付ヲ受クヘシ

第九條　前項ノ手續ニヨリ帶出シタル圖書ハ其ノ日ノ退校定刻前ニ於テ必ス之ヲ出納掛ニ返附スヘシ

第十條　辞書ハ借用スルヲ得ズ但性質ニヨリ或ハ全種ノモノ二部以上アルトキハ圖書主任ノ意見ヲ聞キタル上貸出ヲ諾スルヿアルヘシ

本項ノ貸出ニハ豫メ返納期限ヲ定ムルコトアルヘシ

職員

（明治四十二年五月一日現在）

受持學科	職名	就職年月	氏名	族籍
修身	學校長兼教諭	四十年二月	文學士 吉田賢龍	石川縣平民
英語、歴史	教諭	卅五年九月	從七位文學士 金子幹太	山口縣士族
物理、化學、地文	仝	卅三年四月	從七位 櫛引純二郎	青森縣士族

數學、地理	教諭	廿一年四月	宇佐美武治郎	新潟縣士族
英語	仝	四十年十月	岡部珪藏	大分縣士族
仝	仝	廿七年四月	彦阪與一	栃木縣士族
數學	仝	廿七年四月	高橋善四郎	宮城縣士族
博物、歷史、地理	仝	廿七年四月	杉山常次郎	埼玉縣民
漢文、習字	仝 兼舍監	廿一年六月	山本廉	靜岡縣士族
國語、漢文	教諭	廿年八月	吉岡九八郎	島根縣民
歷史、地理、法制經濟	仝 兼舍監	廿三年四月	池田淳	佐賀縣平民
英語	教諭	四十一年三月	岡村千曳	北海道士族
博物、地理	仝	廿七年九月	浦部虎松	千葉縣平民
英語	仝	四十年十一月	畔上賢造	長野縣平民
國語、漢文	仝	廿九年二月	勳七等功七級 加藤七松	千葉縣平民
體操	仝 兼舍監	廿九年七月	勳八等 糸久龜次郎	千葉縣平民
仝	教諭	廿三年十月	山中文器	茨城縣平民
仝	囑託教師	廿三年四月	退職陸軍歩兵大尉 正五位勳五等功五級 江川盛章	高知縣士族
圖畫	仝 兼舍監	廿年五月	堀江正章	長野縣士族
國語、歷史	囑託教師	廿三年十二月	生田長浩	福岡縣士族

國語	仝	廿六年二月	小林順三	神奈川縣平民
數學	仝	廿五年一月	宗昌雄	福岡縣士族
體操	仝	廿九年三月	正八位勳六等 手島大喜	千葉縣平民
漢文	仝 兼書記事務取扱	四十一年五月	福田惣藏	千葉縣平民
	書記	廿三年二月	上原保俊	千葉縣士族
	仝	廿三年八月	戸村惣三郎	千葉縣平民
	囑託擊劍教師	四十二年四月	伊藤伊三郎	千葉縣平民
	囑託柔道教師	四十一年九月	戸田順吉	福岡縣士族
	教員助手	四十一年十二月	竹内信義	山梨縣平民
	囑託學校醫			
千葉醫學專門學校教授		廿四年十月	醫學博士 筒井八百珠	三重縣士族
千葉病院司療醫		廿三年一月	醫學得業士 林角吉	千葉縣平民
仝		四十二年一月	仝 岩月精一	長野縣平民
千葉病院醫員		四十二年三月	仝 荻須績	愛知縣平民
教務部				
教務主幹			教諭 金子幹太	
教務掛			仝 高橋善四郎	

補習科甲組主任　教諭　金子幹太
〃　乙組主任　〃　畔上賢造
第五年級甲組主任　〃　宇佐美武治郎
〃　乙組主任(長)　〃　高橋善四郎
第四年級甲組主任　〃　吉岡九八郎
〃　乙組主任　〃　櫛引純二郎
〃　丙組主任(長)　教師　手島大喜
第三年級甲組主任　教諭　加藤七松
〃　乙組主任　〃　彦阪興一
〃　丙組主任(長)　教師　生田長浩
第二年級甲組主任　教諭　杉山常次郎
〃　乙組主任　〃　岡部珪藏
〃　丙組主任(長)　〃　浦部虎松
第一年級甲組主任　教師　小林順三
〃　乙組主任　教諭　岡村千曳
〃　丙組主任(長)

事務部

庶務主任　書記　缺員
庶務掛　〃　上原保俊
〃　〃　戸村惣三郎
〃　〃　書記事務取扱　福田惣藏
會計主任　書記　上原保俊
會計掛　〃　戸村惣三郎
圖書主任　教諭　宇佐美武治郎
圖書掛　書記事務取扱　福田惣藏

監督部

舍監主任　教諭　櫛引純二郎
舍監　〃　山本廉
〃　〃　池田淳
〃　〃　糸久龜次郎
〃　校外監督主任　教師　堀江正章
校外監督　〃　江川盛章
〃　教諭　山中文器
教師　手島大喜

生徒

（明治四十二年五月一日現在）

補習科

甲組（卅二人）

級長始關寛
副級長元吉慶四郎

畔上貴（千葉幕山）
今井盛德（瑞穂）
今井四郎（長君）
木内幹治（瀧海）
里村精一（（瀧）朝倉）
島野才二郎（千葉）
恒岡信親（千葉）
成田四郎（松戸）
日暮新（千葉）
元吉慶四郎（市東）
吉原隆（東夷）
安藤榮一（市原）
岩淵廣（市原）
加藤寅治（市原）
今野三郎（印旛）
佐野爲丸（千葉）
關君平（千葉）
粒良一哉（土浦）
能勢豊次郎（千葉）
細田實喜夫（千葉）
柳下晟（玉川）
佐久間操（北埼）
石田了三（大和）
江澤浩三（東夷）
清田達也（鎌ヶ谷）
小泉辰吉（（島）八幡）
始關寛（千葉）
高木勇（（東）神田）
中村覺（佐久）
長谷川銓吾（（三）一）
三橋邦治（久）
吉田庫之介（東葛）

乙組（卅四人）

級長中島登喜治
副級長高潔

和田誠助（千葉）
今井鷹司（千葉）
上原馨之助（東葛）
桐谷晃（長生）
高潔（西）
齋藤嘉一郎（山武）
杉田保（山邊）
寺島治夫（千葉）
中山謙吉（千葉）
平野貞二郎（椎名）
山崎龜治（海上）
宮島誠（高神）
岡齊（海鶴）
伊藤與一（山上）
岡本多聞（日葉）
木内榮三郎（東葛）
佐野川進（海上）
後藤猛（瀧）
志賀清幸（（山）東）
士屋央（香取）
中村和彦（（静）駿）
高橋文雄（日葉）
中島登喜治（市原）
早川淡（千葉）
根本繁（千葉）
三須亮佑（印旛）
吉野中（千葉）
石野治（千葉）
稲村大助（君津）
小樽仁吉（飯野）
久保田菊治郎（八重）
酒井左右司（香取）
志賀清幸（高津）
士屋央（千葉）
中村和彦（（香）一）
早川淡（千葉）
森山正貴（市原）
竹林敬介（（廣）尾道）

第五年級

甲組（四十一人）

級長草間俊次郎
副級長信田退助

草間俊次郎（千葉）
市原章則（長生）
人見藤司（千葉取）
渡邊欽一郎（茂原）
前島治夫（東山）
佐藤進（夷隅）
信田退助（千葉）
飯野啓藏（（東）本所）
根本治（中之郷）
（高市）
（竹原）
（瀧原）

廣倉誠（山口縣武庫郡千葉）
村山至太（千葉山武郡）
宇津本朝（東葛飾郡）
須貝廉二（松戸市）
淺野作夫（東葛飾郡）
筒井敏夫（千葉土氣）
大塚義雄（千葉印旛郡）
島田昇（千葉長狹郡）
池田保二（千葉市姉崎）
田中和雄（千葉土氣郡）
北村清（千葉睦沢）
久保田常次郎（岩手花巻）
吉堀三郎（千葉君津郡）
香取清吉（千葉平岡）
鈴木哲（千葉匝瑳）
山口保（千葉椿海）
遠藤定治（千葉山武郡）
林亨（千葉山武郡）
杉本寛（千葉山武郡）
三須金之助（千葉南葛飾）
上田虎雄（千葉郷武）
柴田節男（東京深川）
（東京）
（東京）
（東京

今關貞雄　長崎郡
伊原茂平治　千葉郡
後藤隆三　長崎郡
鴇田博　千葉郡
齋藤宣二　長崎郡
中島莊治　市原郡
横田房次郎　千葉郡
高橋明治　千葉郡
鵜澤修一　山形郡
山越昇　市原郡
島田仁平　市原郡
松本篁五郎　千葉郡
蜂谷貞孝　千葉郡
山崎精之助　市原郡
三橋德三郎　大東五市郡

森谷藤太郎　千葉郡
片岡仙藏　長崎郡
荻生茂二　沼津郡
淺田雅夫　千葉郡
沼田茂　岩井郡
內田和　印旛郡
佐藤秀芳　秋田郡
木村仁三郎　土氣郡
引嚴　市原郡
奈良寅男　千葉郡
齋川圭嗣　長幕郡
市東嚴武　八長郡
齋藤芳松　市原郡
林茂一　豐長郡
三枝守　千葉郡
渡邊彌六　長東郡
寺島治一　高根郡
山本房吉　千葉郡

稻毛正雄　市原郡
今井順　海上郡
中台正治　千葉郡
長島正平　千葉郡
石橋清吉　千葉郡
平賀左仲　千葉郡
紅谷英三　千葉郡

第四年級　乙組（三十八人）

級長　鵜澤修一
副級長　木村仁三郎

石井來太郎　市原郡
齋藤芳松　市原郡
林茂一　豐長郡
三枝守　千葉郡
渡邊彌六　長東郡
寺島治一　横濱市
山本房吉　千葉郡

上村中　千葉郡
宍倉敏雄　千葉郡
富田幹夫　白井郡
鈴木勇　千葉郡
澤田稔　長生郡
中村彥左衛門　東葛飾郡

澤本榮之助　千葉郡
平野豐五郎　東葛飾郡
櫻木誠　千葉郡
杉山茂樹　千葉郡
吉田清吉　蘇我郡
宮地成喜　千葉郡

第四年級　丙組（三十八人）

級長　御園生桂三郎
副級長　永井了吉

御園生桂三郎　長生郡
川島國治　千葉郡
蓙島俊吉　千葉郡
葛原昇　安房郡
金井塚勇吉　玉埼郡
三輪德秀　上埼郡
島田治郎吉　千葉郡
丸山敬明　横田郡
齋藤正一　市原郡

永井了吉　千葉郡
千脇陣司　都夷郡
高地抱一郎　千葉郡
山崎正雄　白井郡
行川清　山武郡
穴澤郁四郎　千葉郡
林照治　千葉郡
鈴木楠之助　千葉郡
田山來介　千葉郡

井上洞看　千葉郡
矢城善仲　市原郡
向後敬宇　香取郡
松野茂胤　長東郡
平井文三　東葛飾郡

渡邊操　長東郡
森蓊　千葉郡
藤前信夫　山武郡
關一郎　大平郡
恩田守信　長東郡
加納明　八東郡
原鑛三郎　千葉郡
大川清四郎　印旛郡
稗田鎬七　千葉郡

長谷部源治郎　千葉城
佐久間安治　千葉
秋元元常　千葉
大堀吉郎　千葉（生實濱野）

高橋睦太郎　白井
黒川結　千葉
丸木次郎　千葉
茂澤誠次　（東）南葛飾

市川重敏　市原
津田尚正　千葉
藤田誠吾　千葉

第三年級

甲組（四十一人）

秦義男　長一生
鴇田祐夫　市宮原
新藤謙之助　市乘原
三須輝雄　五井
落合精一　（栃）下川印旛
江波戸貫　都賀
野上秀二　（山）菱田
關谷治作　千葉（生實濱野）
安藤憲三　市原
和田崖　養老
大塚仲藏　安房

飯塚佐治郎　山武
今關達三　長生
池内敏郎　（笑）西城
長島鐵　（福）笠間
松本清　千葉
紀田清　（北）小櫃
石川伴之助　千葉
板倉充雄　長生
錦田守　本納
猪野周重　千葉
吉田久次郎　千葉
長谷部中　千葉

級長秦義男
副級長深澤孝

深澤孝　千葉
豊田光雄　千葉
長島鐵　千葉
松本清　千葉
紀田清　千葉
石川伴之助　千葉
板倉充雄　長生
錦田守　本納
猪野周重　千葉
吉田久次郎　千葉
長谷部中　千葉

佐藤榮助　香取
三橋英庵　須賀市
小池照治　原市

橋本秀夫　千葉
三橋已之助　千葉
篠崎敏夫　千葉
森谷三郎兵衛　（富）富山
竹川清敬　大
笠原豊　千葉
中田知一　山
中村健次　五市
井原
吉野傳作　養老

秦三龜雄　長一生
海寶六之助　千葉
高田喜代司　千葉
吉田良平　千葉（生實濱）
矢橋俊一　千葉
大木守治　大和
山田守一　長生
齋藤々三郎　蘇我
志賀五郎　千葉
小倉茂雄　山武
金一郎　佐倉
友鈴木清治　印旛
大野勘藏　東葛飾

第二年級

乙組（三十九人）

小河原彌一郎　千葉（我孫）
栗原久　千葉

級長秦三龜雄
副級長飯田七郎

飯田七郎　山瑞
大塚源太郎　蘇我
矢島秀雄　市五
松村省吾　千豊
岩井善藏　大和
大澤隼　千葉
高石亥之助　市尸
影山益吉　千志
森治助　千磐
大久保愛治郎　千蘇
松本平一　印旛
小名木重一　六合

湯淺良次 千葉

小山二郎 千葉

第三年級

石井四郎 千葉

級長神田修平

副級長長尾俊夫

丙組（四十二人）

神田修平 （鹿）（加治）（和）（和）（歌）（石）（橋）木

長尾俊夫 山

鈴木京輔 二

吉橋孝 市

岩井實 印

豐田覺 千

和田清 都

島田辰之進 千

岡本俊三 市

林忠三 千

若林茂 千

武本吉敏 高

長島喜平 千

森正喜 日

大塚源右衛門 流 東葛飾

中村精一 長

米倉常治郎 千

安藤威 （岐）（安）大

矢崎茂太郎 （茨）（稻）（埼）（新）（島）（歌）山

宍倉巖 日

戸田吉 千

安田貞藏 千

兼山省一郎 （山）西

加藤嘉一郎 千

瀧川源二 千

堀部七太郎 鶴

中尾玄泰 山

平田諒一郎 蘇

千葉 市

千葉 市

千葉 法

千葉 東葛飾

千葉 東葛飾

千葉 東葛飾

愛敬泰亮（長木千生）
渡邊昇（津千田沼葉納）
久保田三郎（宮石鹿巻）
內藤原松（水長上生）
大橋四郎（新刈羽中鯖石）
鈴木幸（檢千見夷川葉隅）
石井佐仲（長夷者井葉）
土屋政司（白千井葉）
川村直二（清（靜）安倍水）
高柳隆太郎（夷大多喜隅）
高安周一（鶴市舞原）
相模哲二郎（山土氣本鄉武）
小澤秀雄（松山尾武）
福中儀勝（高（兵）有馬平）

齋藤義雄（山瑞東葛）
恩田香苗（馬東葛飾穗武）
藤代榮吉（千檢千見橋川葉）
森谷正守（白千見井葉）
八木照千代（千檢千見川葉）
篠田幸之丞（市檢千見川葉）
廣川善三郎（市檢千見原川葉）
田村亮介（摩（東）豊千駄谷多原）
島田春海（千千千葉谷葉）
花光壽（檢千見城葉）
小川政五郎（二千檢千見川葉）
中村捨三（濕市二千千宮葉）
日暮武雄（濕市千津葉）

第二年級　丙組（三十八人）

級長伊藤祚
副級長山田孝

副級長齋藤義雄

篠崎脩三（長新東葛飾市船橋原）
川島一二（東葛飾市治原）
植田金重郎（濕千都千檢千見川葉）
千脇秀治（濕市菊川葉）
小島幸一（檢千見原）
伊庭亨（菊市檢千見川葉）
板倉庄次郎（濕市菊川葉）
杉野耕平（屋（愛）名東古津）
伊原幸太郎（檢千見田葉）
櫻井菊次（印檢千見代田）
中山章（千千千都市）
森信平（千千都市養老）
岩井久治（印檢千代田原賀）

伊藤祚（印井檢）
宇田川亮（白原）
仲村勝三郎（市東）
原田茂（菊市二千宮葉）
日暮三郎（印川檢間原）
二村英一（生實濱原野葉）
河邊萬喜壽（高市瀧原）
鈴木助夫（大千和田葉）
江澤佐平（千山山武）
宍倉善四郎（白千井葉邊）
渡邊晉（旭（北）上川）
村田鎭（八市原川）
朝倉豊（市幡原）

山田孝（山武）
始關誠四郎（山邊）
昇（千千）
林（市）
平野民彌（二長）
渡邊順次郎（市響）
土屋權次郎（白千）
赤塩進（鶴市）
吉田秀（明千）
藤崎重郎（千更）
藤代眞市（檢千見）
清水精一（大（山）吉）
林實（山東）
平（內敷）
花澤一郎（土氣木鄉武金）

第一年級　甲組（四十八人）

級長平野義雄
副級長木島潔

平野義雄（君松）
木島潔（津岡）
大津隆雄（千千葉）
川村司（千葉）
片岡忠義（千一長）
齋藤經義（長生白）

今井太喜雄（千響）
吹野五郎（市菊）
元吉政憲（長鶴）
筒井德光（松（三）飯）
山內春司（千千）
森谷七三郎（白夷）
藍野祐雄（東）
大木恒平（千大和）
柿栖章一（山武）
三枝郁郎（千響）
川島清助（大檢）
關根三郎（戶市）

小池恒久　千葉
佐久間明　千印内
大塚宗一　千葉
加藤只吉　千城郷
小泉清　千市嬬
興松規矩之助　千都
黒川七藏　千二
吉田清一郎　千蘇
花澤譽一郎　千香
越川芳雄　千日取
村田文雄　千検見
豊田勝太郎　千更科
伊藤農夫　（東）牛込
朝生節　富市山原

第一年級

筒井潔　（三）飯南川島規矩　千検見川葉

高橋泰三　千蘇我
大野千里　東葛飾
江幡好雄　（茨）東茨城
中台茂三郎　千幕張
久城有道　千幕津
中山秋夫　（東）淺草
木村秀樹　千葉
森本世外　千葉
藤代保　千検見
田村一　（栃）下都賀
若林九萬　千葉
鈴木長一　千印田
寶利六郎　安津
井岡三藏　千印代田

乙組（四十八人）

三輪德定　（東）下谷
伊藤周郎　南山
山崎藤吉　二千
吉原唯一　山蘇
澁谷豊民　東八
稲垣近義　鎌ヶ市
中村仙藏　大千
足立佐一郎　和千
田久保範一　千検見
荒野不二雄　千印
石橋松之助　蘇佐
押火隷祐　千津
小倉茂一　千都
桑田久一　千蘇

級長筒井潔
副級長川島規矩

大越泰三　千検見川葉

村杉精一　長土生
田山貴　（埼）北足立
粟飯原良輔　千葉
土岐操　市原
大須賀喜一　市西
小坂保　千葉
大塚清一郎　千葉
尾出英雄　千印長
大坪金枝　西代生
稲生八郎　千検見田
楠岡悌二　千印代
中山義一　千葉
須藤榮輔　千蘇
鶴岡菊太郎　千葉
寺島敏　市原八幡

佐久間政章　市ヶ原
藤原與之助　姉崎
安村重策　（新）中佐倉
米澤俊雄　市原
三枝正治　千蘇
吉田三郎　千我
内海吉一郎　千葉
伊藤榮一郎　千生
森川立也　千鹿野
紅谷源吾　千都
櫻井義夫　千印代
竹内勳　（東）四谷左門
大堀貞亮　千葉
鈴木敬介　市生實濱
内山一男　長野
豊岡

第一年級　丙組（四十七人）

吉野二一　布施
小池内匠　蘇我
池澤壽城　長生
宍倉彌一　長柄
大和久衛　長生
影山進　千葉
松戸寛　千下
長谷川要　千都
中島潔治　千都
板倉勝也　市鶴
島村精一　東葛
大石德　（高）幡多
淺倉昇司　千宿
三橋右一　（東）芝二
香田明夫　千宮

級長槇不二雄
副級長佐野秋藏

槇不二雄（新潟）中村松原
小川明二千葉宮
木原正文長生治
中村泰夫新東葛飾早風
佐久間善作長生治新千葉
宍倉三代次風早
小守實東夷隅東部千葉賀
高橋慶太郎（群馬）新田海
宗政忠政東別所生長
加藤國治千葉二宮本郷
大塚公明千葉蘇我
由良嘉吉千葉城
紅谷保二郎千葉生實濟野
鈴木武夫千葉葉
海賓昂千葉葉
跡部英一（山梨）北都巨摩日野春
佐野秋藏千葉宮
吉野毅一千葉二宮
須藤力藏千葉生實濟野
松井彰（廣島）市都西
友金勝印旛佐倉
西周馨長生屋
林久雄五千葉
御園生政二市原
野村耕太郎養老
寺島光治安房
中島禎高市
君塚政文海上
谷田文雄（和歌山）和歌北
中台平一郎千葉新堀
井岡翅升幕印旛張
富谷秀枝山代田
川崎長雄（兵庫）多紀
古關宏山土
吉橋丈夫氣本郷
深山三郎陸奥
萩田常太郎千葉城
押火喜久夫千葉賀
近藤岱千葉城
加瀨悟一海上
石田敏夫旭鳴
宮山勝市潮
伊藤七郎長生
三橋幸吉市原
今村善作千葉西
金親隆千葉生實濟野
森谷滿千葉白井

卒業生

（明治四十二年五月一日現在）

明治十四年七月十六日卒業（五名）

氏名	族籍	氏名	族籍
韓國統監府法學士 木內重四郎	千葉平山	水谷篤藏	千葉市
横濱市私立英學院主 平田金巳	千葉士武	商業	士原
私立成田中學校教諭 中島喜一	印旛平	函館每日新聞主筆 齋藤和太郎	千葉士生
	君津		和知改 市原

明治十五年二月十日卒業（六名）

衆議院議員 辯護士 藤代市之輔	千葉平	影山責己	千葉士
死亡 土屋啟三枝常八	千葉平	小野岩太郎	千葉士
大坂府岸和田中學校教師 齋藤堅太郎	山武	野澤常太郎	千葉士
	千葉士		市原
	市原		益吉改

明治十五年七月十八日卒業（三名）

學習院兼文科大學教授 文學博士 白鳥庫吉	千葉平	越川勳顯	千葉平
	長生		海上
帝國商業銀行員 文學士 吉堀敬助	千葉平	商業（旭町）三之助改	
	君津		

明治十六年二月十六日卒業（六名）

衆議院議員 吉植庄一郎	千葉平	越川俊次	千葉士
開業醫 小島尤之助	印旛平	茂原小學校教員	長生
熊谷區裁判所判事 唯一改 水島川唯一郎	千葉平	死亡 山田比古次	千葉平
	長崎縣港	長崎縣港吏 前田忠次郎	安房
	生		君津

明治十六年七月十八日卒業

茂原大成學館　白井勇次郎　千葉平生長
姉崎小學校長　戸塚爲藏　千葉士市原

明治十七年二月十五日卒業

東京小石川礫川學校　千頭和隆太郎　千葉士市原
東京仲徒町三牛村病院　吉野眞太郎　埼玉平
鎌田孝子郎　埼玉平北埼玉

明治十七年七月十二日卒業

雜誌士八千葉）
死亡　杉山彌太郎　千葉平山武
田村儀太郎　千葉平東京平
中里金之助　千葉平千葉
四街道小學校長石橋改　松戸鐵太郎　千葉平千葉

明治十八年二月十八日卒業

死亡　相馬辰之助　千葉平東葛飾
小學校教員　小高隣　千葉平夷隅
長谷川次郎　千葉平千葉

明治十八年七月二十日卒業

（十三名）

（四名）

千葉高等小學校教員　小池駿平　千葉士市原
在米國　永尾唯一　茨城士

（六名）

死亡　小池彌太郎　東京士
千種小學校長　鮎川孝一郎　千葉平市原
齋藤改　石渡利三郎　千葉平山武

（七名）

農業（都賀）　湯淺覺藏　千葉平千葉
自家農業　影山峰之助改　三橋彌　千葉平東葛飾
農學士
横須賀鎮守府海軍少佐　小林辰之助　東京平神田

（五名）

康寅新誌社　押尾改　續常太郎　千葉平印旛
死亡　小川儀助　千葉平匝瑳

（十三名）

實業（八積）

死亡　市東倉藏　千葉平長生　死亡　伊東祐之　千葉平山武
加瀬爲吉　千葉平山武　周西小學校長　槇本保五郎　千葉平君津
近江銀行員　高力改　山田叔男　廣島士法學士　飯給小學校長　常泉琴治　千葉平君津
野戰砲兵十八聯隊一等軍醫　松原新七郎改　片山秀俊　千葉平印旛　死亡　村田彌　千葉平市原
帝國鐵道院　石井房松　千葉平山武　死亡　山野井虎市　千葉平市原
商業（茂原）　横堀平藏　千葉平長生　瀧田正義　東京士
横田小學校教員高橋改　中山小市郎　千葉平君津

明治十九年二月十五日卒業

茨城縣下妻中學校教諭　勝田吉次郎　千葉平印旛　實業（明治）　渡邊俊一郎　千葉平市原
臺灣總督府技師黑川改工學士　濱野彌四郎　千葉平印旛　實業（明治）　箕箒延太郎　千葉平市原
實業（木更津）　石川貞次郎　千葉平君津　長崎三井物產會社支店長　法學士　田中清次郎　山口
習志野衛戍病院長二等軍醫正　瀨川良太郎　千葉士千葉　長崎縣港務部屬　齋藤鐵五郎　千葉平千葉
登戸小學校長　大岩改　金坂房太郎　千葉平市原　清國四川省成都勤工局　石塚豐次郎　千葉平印旛
岐阜縣中津高等女學校長兼教諭　石渡石松　千葉平東葛飾　韓國咸興第十二師團獸醫部長三等獸醫正　根本文哉　千葉士
實業（東）　田中耕　千葉平長生

明治十九年七月二十三日卒業

（十五名）

横濱メーソン商館員　金子量太　千葉士市原　千葉縣立東金高等女學校教諭　青木安治　千葉平長生

死亡　多田滿（千葉平君津）
名古屋地方裁判所判事　松本保造（千葉平長生）
商業（茂原）　伊藤七之丞（千葉平長生）
重城敬（千葉平君津）
農業（小櫃）　齋藤德（千葉平君津）
小學校長　藤田龜太郎（千葉平印旛）
小學校教員（海上）　立野綱太郎（千葉平市原）

明治廿年七月（第一回）卒業

小學校教員（市西）　萩原荻之助（千葉平市原）
東武鐵道會社技師　粒良改工學士　吉野傳次（千葉平長生）
小學校教員（鏡泉）　小澤吉五郎（千葉平君津）
福島縣立福島中學校長　桐谷文平（千葉平長生）
在米國　齋藤改　中村順三（千葉平夷隅）
福井縣福井中學校教諭　山岡順六（千葉平夷隅）
死亡　成瀨文吉（千葉平士）
大戸改　古瀧菊次郎（千葉平長生）
小學校教員（金田）　鹿島收（千葉平君津）
死亡　市東伊三郎（千葉平夷隅）
小學校教員（小櫃）　山中茂（茨城平新治）
實業（幟橋）　齋藤與之吉（千葉平君津）
死亡　海老原仁三郎（千葉平君津）
都賀村殿臺小學校教員　吉田郁四郎（千葉平長生）
中島銀之助（千葉平長生）

（廿名）

死亡　佐五平改　市原佐吉（千葉平）
佐賀縣小城中學校教諭　八劔織太郎（千葉平）
小學校長（鵜枝）　富塚庄三郎（千葉平君津）
大坂市南區鰻谷東ノ町　小田實乘（大坂平大坂南）
死亡　信田儀太郎（千葉平海上）
小學校長（瑞澤）　宇野八十八（千葉平夷隅）
農工銀行員　平林馬之助（千山平武）
小學校長（平藏）　伊藤俊作（千市平原）
死亡　伊藤安五郎（千葉平）

實業（豐田）　宮山安次郎（千葉平長生）
實業（千城）郡參事會員　佐野庫之助（千葉平）

明治二十一年七月（第二回）卒業（十四名）

芳谷炭坑會社事務員（肥前東松浦北波多村）　君塚淺次郎（千葉平）
開業醫　上田恒（千葉平）
死亡　片岡豐司（千葉平）
開業醫（佐原）　杉山直吉（千葉平）
實業（源）　猪野禎五郎（千葉平）
大坂住友銀行東京支店員　影山改　竹內莊治（千葉平）
小學校教員（千葉）　長島泰藏（千葉平）
商業（安食）　岩井禎助（印旛平）
農業（茂原）　外山萬治（長生平）
小學校長（東陽）　林改　大和久庫雄（長生平）
小學校教員（君津松丘）　齋藤改　伊藤八十二（千葉平）
小學校長（植野）　竹內三男士（千葉平）
實業（更科）　仲田徹（千葉平）
實業（都賀）　豐田啓次郎（千葉平）

明治二十二年六月（第三回）卒業（十五名）

行政裁判所書記　萱島太郎（宮崎士兒湯）
小學校長（西畑筒原）　君官新一郎（千葉平夷隅）
商業（曝）　眞田太之輔（千葉平安房）
實業（大和田）　中島彌七（千葉平）
小學校教員（大網）　淳一郎改　天羽淳夫（千葉平市原）
小學校教員（中郷富士見）　平吉改　分目茂夫（千葉平君津）
死亡　河邊喜太郎（千葉平市原）
高等商業學校教師兼農商務技師　三山喜三郎（千葉平士）
博士　宮崎士兒湯
千葉農工銀行　石田改　圓尾卓爾（千葉平生）
支配人　齋藤友次郎（千葉平市原）
長崎縣立五島中學校教諭　小學校教員（鵜枝）　元吉伊勢次（千葉平長生）
小學校長（大網）　高安卯太郎（千葉平市原）
小學校長（神納）　分目伊之助（千葉平君津）
死亡　吉原達太郎（千葉平山武）

實業（竹ヶ岡）　土屋彦太郎（千葉平君津）

明治二十三年三月二十五日（第四回）卒業（十名）

小學校教員（小湊）　鈴木省一郎（千葉平安房）　小學校教員（湯島六）　吉田忠太郎（千葉平東葛飾）
小學校長（山武豐岡）　齋藤改　湯川欽朔（千葉平市原）　小學校長（貞元）　久保田福太郎（千葉平君津）
實業　伊藤瀧藏（千葉平千葉）　實業（菊間）　大野仁一郎（千葉平市原）
福岡縣立中學修猷館　多田寅松（千葉平香取）　田島彦次郎（千葉平東葛飾）
實業（都）　足立卯兵衛（千葉平千葉）　小學校長（粕山）竹松改　淺倉眞清（千葉平安房）

明治二十四年三月（第五回）卒業（十一名）

小學校教員（佐倉）　但馬鑒之亟（千葉士印旛埼玉）　文學士　酒井正澄（千葉平安房）
白石長三郎（千葉士印旛）　關東總督府大連防疫委員本部二等軍醫安田改　根本麟之輔（千葉平東京）
渾河戰死　（軍曹）鈴木清之助（千葉平君津）　千葉縣屬　松下潔（千葉士千葉）
實業　鈴木春太郎（千葉平君津）　實業　高橋勇太郎（千葉士福島）
小學校長（長浦）　中川謙之助（千葉平君津）　實業（小櫃）　安藤要太郎（千葉平君津）
東京高等工業學校書記　遷藏改　横田孝正（千葉士市原）

明治二十五年三月（第六回）卒業（十四名）

實業（小土呂）　鹽田茂左衛門（千葉平夷隅）　香川縣屬　玉井政助（靜岡士）
實業　歩兵大尉　宮井鎮男（千葉士市原）　東京市技師　土木技手　谷村隆吉（千葉士海上）

實業（千葉）　福井保（千葉平千葉）　山口縣事務官　法學士　川崎卓吉（廣島平香川士）　實業（平岡）　多田改　歩兵中尉　平井政次郎（千葉平市原）
實業（濱野）　渡邊改　齋藤郁郎（千葉平市原）　千葉醫學專門學校教授　海老原改　醫學士　長尾美知弘（千葉平印旛）　清國北京大學堂教習　文學士　鈴木信太郎（千葉平印旛）
小學校教員（日新）　糸久英臣（千葉平長生）　獨乙留學中　新潟長谷川病院　湯淺（愛媛士北宇和）　實業（龜山）　朝生義太郎（千葉平君津）　東京稅務管督局稅務屬　小安哲衛（千葉士市原）
小學校長（東浪見）　西周政次郎（千葉平千葉）　歩兵中尉　藤本元次郎（千葉士千葉）　福島縣立工業學校教諭　佐久間石太郎（千葉平市原）　醸種製造業（野里）　丸山房吉（千葉平君津）
實業（臼井）　太田尚太郎（千葉平長生）　大藏省書記官　法學士　二宮基成（愛媛士北宇和）　熊ヶ谷稅務署屬　林十朋（千葉平匝瑳）　實業（太東）　細矢改　石橋英三郎（千葉平長生）

明治二十六年三月（第七回）卒業（十三名）

韓國義州　通信書記　吉野省三郎（千葉士千葉）　死亡　櫻井冽（千葉平印旛）

明治二十七年三月（第八回）卒業（十五名）

死亡　片岡久吉（千葉平長生）　神戸高等商業學校教授　京都帝國文學科大學講師　石橋五郎（千葉士印旛）　死亡　廣部周助（千葉平君津）
死亡　土屋伊之助（千葉平山武）　農業（高瀧）　小宮信太郎（千葉平市原）
佐倉中學校教師　寺本善一郎（千葉平香取）　實業　歩兵中尉　笠井倉三郎（千葉平印旛）

篠崎改 根本三郎 千葉平 實業
死亡 村松馨 千葉士 農業（市西）
五井銀行員 渡邊改 鴇田道三郎 千葉市 小學校教員（市川）
大屋熊之助 福岡平原 神戸市森村組社員
死亡 鶴岡泰松 嘉摩千葉原 田村伊之松 千葉君津平

明治二十八年三月廿九日（第九回）卒業（十六名）

京都帝國大學助教授 理學士 志田順 印旛士 旅順戰死 歩兵大尉 松村直樹 千葉士
死亡 木内彰 香取平 東京地方裁判所判事小學校教員（麻布） 法學士 小川悌 千葉山武 東京地方裁判所判事小學校教員（麻布） 烏海改 東條秀次郎 千葉君津平
東京地方裁判所判事 千葉縣屬 法學士 立石謙輔 印旛士 薩摩堀市 柳澤靜雄 印旛士 死亡 上原庸記 東京芝平
川上爲正 印旛平 高知士 大嶺戰死 歩兵中尉 上原重治 千葉士
家庭雜誌主筆 大井光治 吾川士 豫備憲兵大尉 宮澤常五郎 千葉安房平
農商務省西ヶ原農事試驗場 染谷亮作 東葛飾平 小學校教員（下谷眞島町） 木島昌三郎 千葉士
東京外國語學校獨語科卒業 丸勝藏 千葉安房 長峰義雄 千葉市隅平

明治廿九年三月三十日（第十回）卒業（十二名）

實業（根郷） 櫻井光太郎 印旛平 長崎縣技師 上田捨造改 軍醫 島田淑 印旛平
實業（豊岡） 高宮新 山武平 死亡 安達隆治 印旛平

死亡（月島丸遭難） 山崎五郎次 千葉平 佐倉順天堂醫院副院長 太田改 佐藤恒二 長野士北
廣島佛教中學校教諭 青木幹一 香取 第四十七聯隊少尉大尉 水町竹三 佐賀士
法學士 石渡謐 山梨平 死亡 久城賜 千葉平賀
實業（白井） 川上謙 印旛平 實業（内田） 歩兵大尉 河内純二郎 君津平
千葉平 千葉平 千葉平 市原平

明治三十年三月廿六日（第十一回）卒業（廿九名）

死亡 岡直一 千葉平 開業醫（久賀） 山田一之 千葉平
死亡 神明久夫 東葛飾平 函館病院 神谷良平 香取平
韓國開城歩兵第五十九聯隊歩兵大尉 日野紹 千葉長生 小學校教員（明治） 足助久保 千葉平
開業醫（東） 豫備陸軍々醫 河野誠一 印旛平 死亡 飯田良二 市原平
法學士 小倉彦六 長生平 實業（東海） 井口源四郎 海上平
實業（猿見川） 高井純 君津平 私立成城學校教諭 堀越岩松 千葉平
縣立大多喜中學校教諭 關谷猪助 千葉平 開業醫（内田）三等軍醫 宮崎俎二 千葉平
小學校教員（川上） 山本重四郎 長生平 小學校長（幕張）志村改 大越金五郎 千葉平
死亡 仁科太助 印旛平 新潟縣長岡病院 若菜莊藏 千葉平
商業（久留里） 藤平量三郎 君津平 農業（上湯） 大宮禎治 千葉平
小學校教員（本納） 歩兵少尉 鶴岡善朗 千葉平 實業（日向） 歩兵中尉 小川忠示 千葉平
歩兵中尉 三橋權藏 千葉平 實業（旭） 櫻井政治郎 印旛平

開業醫　宮原立太郎（千葉市平原）
三等軍醫　保三改　高橋光雄（千葉市平原）
小學校教員　佐藤改　石井辰吉（千葉君津匝瑳）

明治三十一年四月九日（第十二回）卒業（十八名）

長崎造船所　工學士　赤塩玉城（千葉市平原）
帝國大學々生　東京帝國大學院學生　東京府立第三中學校教師　文學士　諸岡良雄（茨城稻敷）
旅順戰死　歩兵中尉　石井彪雄（香取）
東京法學院生徒　江澤幹藏（千葉長生）
東京工業學校卒業自營　松原圭次郎（千葉印旛）
米國留學　服部良太郎（千葉市原）
小學校教員（八幡）　大塚改　岡本三郎（千葉）
三等軍醫　齋藤改　麻生源次郎（千葉）

明治卅二年三月卅一日（第十三回）卒業（十九名）

山口縣事務官　法學士　從七位　日比重雅（三重士）
開業醫（千葉）　内田實（千葉印旛）
東京帝國大學醫科大學助手　醫學士　町山治躬（千葉山武）

死亡　山邊朋信（千葉）
開業醫（豐住）　野口巖（千葉）
東京本所江東病院　金坂重喜（東葛飾）
海軍省　股野貫之（千葉長生）
死亡　岩本衡平（東葛飾）
死亡　大須賀顯（千葉）
司法官試補岐阜地方裁判所檢事代理　大多和忠三郎（千葉長生）
小學校教員（浪花）　石井晴之助（千葉夷隅）
第六高等學校生徒　小倉雅五郎（千葉）

實業　陸軍豫備少尉　中村孝（千葉印旛）
中臺僚三郎（千葉）

東京帝國大學生　醫學士　秋田哲（千葉平）
砲兵少尉　吉田昌治（千葉君津）
明治大學生徒　土岐進吉（千葉君津）
開業醫　三等軍醫　風戸榮壽郎（千葉長生）
實業　高梨清（千葉安房）
石塚正二（千葉）
鶴岡重順（千葉夷隅）

明治卅三年三月卅一日（第十四回）卒業（二十六名）

本校教諭　加藤七松（千葉長生）
東京郵便電信局　國松鐵藏（千葉市原）
死亡　岡本泰治（千葉市原）
小學校教員（東陽）　金坂和（千葉長生）
醫學士　小倉文彦（千葉山武）
死亡　金子松之助（千葉）
福岡醫科大學生　内田邦彦（千葉長生）
小學校教員（千町）　酒井改　朽方佐平治（千葉）
東京法科大學生　柴沼榮作（千葉宏房）

開業醫（松戸）　岡猛（千葉東葛飾）
死亡　成島有秀（千葉長生）
清國天津駐屯軍病院　足立藤吉郎（千葉）
三等軍醫　松田等（千葉和歌山）
千葉醫學專門學校生徒　龜田中（茨城東牟婁）
熊本縣農學校教師　吉田又藏（千葉印旛）

醫學士　中村辰之助（千葉匝瑳）
商船學校卒業（山城丸乘組）　香取修平（千葉匝瑳）
實業（曾我）　水野藤吉（千葉）
京都醫科大學助手　林喜作（千葉長生）
（南山役戰死）　上等兵　廡生司直（千葉印旛）
實業（都賀）　黑川宗七郎（千葉埼玉）
若森久幹（千葉）
小學校教員（千城）　平川惣一郎（千葉）
東京工科大學生　藤崎勝三郎（千葉印旛）

福岡醫科大學
東京早稻田大學生　大多和與四郎　千葉平
東京早稻田大學生　高橋正一　千葉長生
安田銀行員　中山幸之助　千葉平
農商務省內大博覽會事務員　福井篤　東京深川
中山改　千葉長生

明治卅四年三月卅一日（第十五回）卒業（四十二名）

實業（水上）
福岡醫科大學生　大木楫治　千葉長生
高等商業學校卒業　富谷貫二　山梨平
實業　加瀨明治　千葉平
實業　伊藤禎治　香取平
第十五師團附　歩兵中尉　飯高和三郎　千葉市
實業　富澤義亮　印旛平
千葉醫學專門學校生徒　島田中　千葉香取
東京法科大學々生　川口南海雄　千葉平
法學士　永井準一郎　安房平
開業醫　關谷祐之　千葉長生
東京神田區峰內科病院內　小林英　東葛飾
秋塲鐵雄　千葉市原
實業　歩兵少尉　松崎寛造　千葉平
渡米（繪畫研究）　柳敬助　千葉市原
鐵道局作業課員　增子岩彦　君津
福岡醫科大學生　小島達三　埼玉北埼玉

實業（吉尾）
小學校教員（六合東）　永井信太郎　千葉平
小熊國治郎　君津
稻岡守　印旛平
陸軍三等軍醫　大澤寛之助　千葉市原
石和田武次　千葉長生
石橋昌信　長生
生駒扨彦　福岡東群馬
狩野半祐　勢多
歩兵少尉　加藤潔　千葉士
東京外國語學校卒業

明治卅五年三月卅一日（第十六回）卒業（四十四名）

實業　諸岡隆　茨城稻敷
長崎醫學專門學校生徒　石橋惣策　千葉平
千葉醫學專門學校卒業　須田收　千葉市原
千葉監獄醫　大澤順　千葉長生
小學校長（養老村）川在　佐久間惣策　千葉市原
實業（新治）　篠崎定五郎　長生
戰役病死　歩兵中尉　伊藤重雄　千葉市原
岐阜縣立斐太中學校教師　板倉四郎　千葉山武
八角新吉　千葉山武
恩田明　東葛飾
千葉醫學專門學校卒業　大澤順　千葉長生
千葉監獄醫　須田收　千葉市原
小學校長（養老村）川在　佐久間惣策　千葉市原
實業（新治）　篠崎定五郎　長生
千葉病院內科醫員　中島晋一郎　千葉印旛
東京醫科大學生　河野健輔　千葉平
足助改　星野慤吉　千葉市原
千葉醫學專門學校卒業　及川國治　千葉長生
加藤改
東京帝國大學法科學生　芝辻一郎　千葉安房
東京法科大學生　市原統　千葉長生
札幌農學校生徒　本村莊輔　千葉印旛
騎兵第十四聯隊附　鶴岡岩三郎　千葉平
三等軍醫　今井由貴　千葉山武
千葉縣立佐倉中學校教諭　吉田信　千葉平
東京農科大學生　伊藤巳之吉　千葉匝瑳
橫須賀要塞砲兵聯隊砲兵少尉　永井又二郎　千葉安房
三井物產會社員　清宮善高　千葉山武
海軍少尉　早川淺治　東葛飾
東風谷改
印刷局

早稲田大學生　倉次徹夫　千葉士族
東京醫科大學生　野川彬　岐阜本巢郡
東京高等工業學校生徒　寺島敏巧　千葉東葛飾郡
第十五師團附歩兵少尉　三枝清　千葉平民
開業醫　齋藤利一郎　山形平民
死亡　中島彌平　千葉平民
早稲田大學生　並木武　千葉山武郡
死亡　齋賀國藏　千葉市原郡
三等軍醫　大野孝　千葉士族
死亡　鈴木信雄　印旛郡
實業（五郷）歩兵少尉　鶴岡確　千葉長生郡
東京慈惠會醫院醫學專門學校生徒　湯川文次　千葉市原郡
實業（土睦）　田中孝平　千葉長生郡
仁山堂醫院内　湯淺改　久城綱五郎　千葉長生郡
實業（阿蘇）歩兵少尉　土屋泰輔　印旛郡
明治卅六年三月卅一日（第十七回）卒業（五十七名）
京都醫科大學生　本多元俊　千葉平民香取郡
千葉醫學專門學校卒業　桂圭三　新潟中蒲原郡
死亡　平川恒次　千葉平民
大分縣臼杵中學校教諭　佐藤庸一　千葉東葛飾郡
實業（撿見川）　高宮昇　千葉夷隅郡
千葉醫學專門學校卒業　齋藤省三　千葉平民
奉天戰死　仙波正之　千葉匝瑳郡
旭川聯隊　齋藤改　中村繁　山形平民
歩兵少尉　間山誠意　千葉市原郡
千葉醫學專門學校卒業　新井信　千葉市原郡
千葉醫學專門學校卒業　大木武治　千葉長生郡
東京早稲田大學生　高石榮治郎　千葉市原郡
農科大學實科卒業　篠田有德　千葉印旛郡
實業　鵜澤惇　千葉山武郡
東京早稲田大學生　杉山太助　千葉君津郡
花香伯貢　千葉香取郡
東京工科大學生　塚本紋三郎　千葉平民夷隅郡

福岡醫科大學生　和田彰司　千葉平民
東京文科大學生　川島良平　千葉東葛飾郡
宇兵衛改　佐藤三郎　千葉夷隅郡
東京工科大學生　木内直　千葉山武郡
第二高等學校生徒　小倉鴻文　千葉高知郡
外務省書記、在浦鹽斯德日本領事館　島田滋　千葉長岡郡
東京農科大學林學實科　高橋健之丞　千葉平民
東京帝國大學醫科大學生　鶴岡正一　千葉山武郡
鶴岡庄平　千葉平民
千葉醫學專門學校卒業　河野守　千葉君津郡
渡邊玄吉　千葉士族
千葉醫學專門學校卒業　鈴木芳藏　千葉市原郡
早稲田大學生　安蒜政治郎　千葉東葛飾郡
千葉醫學專門學校卒業　時田實　千葉市原郡
木更津中學校教諭　竹内茂每　千葉平民
早稲田大學生　櫻井彌一　千葉平民
香取仁左衛門　千葉君津郡
千葉醫學專門學校卒業　田中利輔　千葉平民
東京帝國大學醫科大學生　池田孝男　千葉長生郡
東京高等師範學校生徒　大塚平　千葉山武郡
千葉醫學專門學校卒業　佐藤金司　千葉香取郡
千葉縣女子師範學校教諭　宮崎改　吉野誠治　千葉平民
第三高等學校卒業　伊藤實　千葉印旛郡
千葉病院勤務　加藤義次　千葉平民
早稲田大學生　關谷芳太郎　千葉印旛郡
死亡　成毛規矩　千葉香取郡
東京法科大學生　栗田弘　千葉德島士族
死亡　金子信一郎　千葉香取郡
札幌農學校卒業染谷改　伊藤四郎　千葉東葛飾郡
千葉醫學專門學校生徒　鈴木政吉　千葉印旛郡
第二高等學校生徒　井上啓三　千葉兵庫用郡
在韓國第十三師團四十九聯隊附　伍長　原賢次郎　千葉君津郡
村井信照　千葉東京平民
山越久四郎　千葉芝士族

第六高等學校生徒　鋤柄直也　千葉縣平隅
千葉醫學專門學校生徒　田中由太郎　千葉縣印旛郡平
小學校教員（松戸）　小池幸次郎　千葉縣平
東京明治大學生　小出幹夫　千葉縣市原
千葉醫學專門學校生徒　内海治三郎　千葉縣平
木更津稅務屬　松本改　香取作樂　千葉縣海上
武田祐明　印旛郡
臺灣製糖株式會社　地曳邦三　君津郡
鴇田寛　千葉縣平
古谷立馬　東葛飾郡
東京慈惠醫院醫學專門學校卒業　江口鬼子松　千葉縣山武郡

明治卅七年三月卅一日（第十八回）卒業（五十九名）

東京帝國法科大學々生　吉野圭三　千葉縣平
千葉醫學專門學校卒業　佐藤信一　千葉縣夷隅
京都帝國醫科大學々生　本多操　千葉縣香取
熊本師範學校教諭　立石秀三　千葉縣平
東京帝國工科大學々生　市川濟一　千葉縣市原
中島輝代司　千葉縣平
土屋文知　千葉縣印旛郡平
今井惣明　千葉縣香取郡平
富永馥　千葉縣山武郡平
須田惇吉　千葉縣市原郡平
小池貫一　千葉縣長生郡平
麻生茂　千葉縣印旛郡平
竹下新七　千葉縣夷隅郡平
北崎麟一　千葉縣香取郡平
酒井謙　千葉縣長生郡平

東京慈惠會醫院醫學專門學校生徒　忠一郎改
千葉醫學專門學校卒業　櫻木改
死亡
東京美術學校卒業
東京明治大學生
東京慈惠會醫院醫學專門學校生徒
千葉醫學專門學校卒業
東京帝國法科大學々生　椎津盛一　千葉縣平
東京帝國法科大學々生　田中信良　滋賀縣士
死亡　淺野信三郎　千葉縣生
實業　渡邊改　田丸節　千葉縣印旛郡平
小學校教員（内田）　武内靜二　千葉縣市原

東京帝國文科大學々生　佐久間政一　千葉縣市原
東京高等商業學校生徒　木村新一　千葉縣平
第一高等學校生徒　清宮外記　千葉縣山武
千葉醫學專門學校卒業　大木玄碩　千葉縣匝瑳
千葉醫學專門學校生徒　鶴岡洋　千葉縣平
東京美術學校生徒　藍野精一　千葉縣夷隅
東京美術學校生徒　大野隆德　千葉縣山武
早稻田大學生　進藤京爾　君津郡
實業　山邊堅　千葉縣平
東京國學院卒業　川上滉　千葉縣市原
第七高等學校卒業　根岸定吉　千葉縣安房
鈴木順一　千葉縣匝瑳
千葉醫學專門學校生徒　御園生政一　千葉縣市原
早稻田大學生　石橋滋治　千葉縣平
東京織業講習所　大松重敏　千葉縣匝瑳
椎津宗醇　千葉縣安房
日本大學々生　村井武山　千葉縣平

東京帝國醫科大學々生　鈴木博量　千葉縣匝瑳
東京高等工業學校生徒　山縣尚三郎　山口縣士
第一高等學校生徒　伊藤龍夫　千葉縣阿武隈
實業（清海）　吉野甚藏　千葉縣夷隅
千葉醫學專門學校卒業　盧谷揆一　千葉縣士
在米國　安井信　千葉縣平
少尉候補生　青柳肇　千葉縣山武
實業（東）　墨田郁郎　千葉縣香取
少尉候補生（阿蘇乘組）　土屋甫　千葉縣長生
瀧本益次　千葉縣山武
東京高等商業學校生徒　細谷祐次　千葉縣東葛飾
政府財政顧問光州支部　土屋泰助　千葉縣長生
實業　伊藤昇　千葉縣山武
小學校教員（更科）　白井重藏　千葉縣平
明治大學生徒　川名改　佐久間哲三郎　千葉縣安房
京都文科大學專科學生　谷中峻太郎　千葉縣君津
東京美術學校卒業　香川敬事　千葉縣平

東京外國語學校卒業　堀田正和　千葉士族
小學校教員（白里）　足立清　千葉平武
東亞同文書院卒業　田邊均　千葉長生
早稻田大學生　中村義次　千葉印旛
東京明治大學生　太田錄郎　千葉印旛
慶應義塾大學生　藤田清一　千葉印旛
早稻田大學生　岩澤松殖　千葉山武
早稻田大學生　森山清亮　千葉市原

明治卅八年三月卅一日（第十九回）卒業（七十三名）

東京帝國大學法科學生　鵜澤憲　山武
千葉醫學專門學校生徒　押火權太郎　千葉平
廣島高等師範學校生徒　細田新藏　千葉市原
士官候補生　小島次助　千葉平
東京高等商業學校生徒　木內隆三　千葉印旛
第四高等學校生徒　高橋理一郎　香取
少尉候補生（阿蘇乘組）　關禎　千葉山武
東亞同文書院卒業　山口昇　千葉印旛
香取郡書記　積田宏一　千葉山武
實業（譽田）　米本信吾　千葉香取
千葉醫學專門學校卒業　江尻才次郎　千葉平
早稻田大學生　藤原次郎　千葉市原
實業　花島規矩　千葉平
臺灣總督府國語學校生徒　田中常平　千葉東葛飾
齋藤利平　千葉長生
東京帝國大學々生　藤本小太郎　千葉匝瑳
高等商業學校生徒　飯田信治　千葉香取
東京帝國法科大學々生　石井赳夫　千葉印旛
角瀨喜市　千葉平
町野雄治　千葉平
東京帝國工科大學々生　小河原藤吉　千葉平
野平定次　千葉平
帝國鐵道院　小宮仲治　千葉印旛

慶應義塾大學部生徒　近藤喜一　千葉東葛飾
渡米　平田謙剛　福島士族
步兵少尉　小出伊達士　千葉長生
千葉醫學專門學校生徒　國友良茂　千葉士族
青島手茂雄改
千葉醫學專門學校生徒　染井友喜　千葉印旛
小澤要藏　千葉平
染谷忠八郎　千葉東葛飾
死亡　中臺紋一　千葉印旛
在米國　山本新藏　千葉平
縣立銚子商業學校教諭兼舍監　倉本進　千葉山武
秋葉義雄　千葉市原
千葉醫學專門學校生徒　日下部忠治　千葉香取
千葉醫學專門學校生徒　藤平謙齋　千葉夷隅
藤平金吾　千葉君津
縣立松戸園藝專門學校生徒　高橋利信　千葉平
笠川隆　千葉東葛飾
死亡　穴澤廉之亮　千葉平
早稻田大學卒業　沼田作　千葉安房
第二高等學校生徒　若林健一　千葉山武
釀造業　伊藤庸之助　千葉平
實業　山谷重治　千葉平
渡米　黑田勇　千葉平
國學院大學　二木正雄　千葉長野
小學校教員　御園生治三郎　千葉東葛飾
實業　井出通衛　千葉市原
早稻田大學生　縣保三　千葉南佐久
早稻田大學生　能勢鬼一　千葉山武
長野縣鹽務局實業　吉野富雄　千葉長生
小學校教員　大森喜三郎　千葉山武
船橋半三郎　千葉香取
林米吉　千葉仲多度
三橋德太郎　千葉市原
吉野勝良　千葉夷隅
死亡　松戸秀次　千葉海上

歩兵少尉　桐谷暉　千葉平長生
正倫尋常小學校訓導　賢箸總雄　千葉平市原
千葉醫學專門學校生徒　豊田束　千葉平
千葉醫學專門學校生徒　鵜殿不二男　千葉平匝瑳
千葉縣屬　篠田信　千葉平印旛
千葉稅務署屬　海保鏈吉郎　千葉平印旛
士官候補生　峰木莊八　千葉平士
千葉醫學專門學校生徒　戸塚英雄　千葉平市原
陸軍歩兵少尉　布施朋之丞　千葉平
東京獸醫學校生徒　鈴木京三　千葉平市原
高石松之助　千葉平
東京帝國法科大學學生　那司平治　千葉平山武

明治卅九年三月卅一日(第廿回)卒業　(七十七名)

死亡　野老善策　千葉平山武
第一高等學校生徒　佐久間鼎　千葉平山武
慶應義塾大學豫科　前島榮治　千葉平山武
林四郎兵衛　千葉平香取
鶴岡惣三郎　千葉平山武
早稲田大學生　檜垣重夫　千葉平印旛
千葉縣師範學校二部生徒　加藤末吉　千葉平市原
實業　小川久元　千葉平
小學校教員　杉山昇　千葉平靜岡方
小學校教員　豊田良平　千葉平市原
丸三郎　千葉平長生
内田通亮　千葉平印旛
室岡善太郎　千葉平香取
澁谷莞爾　千葉平長生
久城潞　千葉平君津

第四高等學校生徒　澤太一　千葉平安房
千葉醫學專門學校生徒　阿部直吉　千葉平市原
澤本慶吉　千葉平
名古屋高等工業學校生徒　今井功　千葉平山武
相川慶太郎　千葉平東葛飾
士官候補生　吉田彌六　千葉平東葛飾
千葉醫學專門學校生徒　犬森富三　千葉平市原
千葉醫學專門學校生徒　岡本良衛　千葉平市原
千葉醫學專門學校生徒　細田重平　千葉平市原
齋賀貞次郎　千葉平市原
實業　前橋和一　千葉平長生
岡本豊　千葉平安房
名古屋高等工業學校生徒　海老原貞平　栃木平河内
入營中　杉山佐和　東京平牛込
慈惠會醫院醫學專門學校生徒　犬橋重義　東京平南島飾
士官候補生　佐藤堅司　千葉平
千葉醫學專門學校生徒　菊川貞　千葉平
第四高等學校生徒　古地信　千葉平士
農科大學實科　平田勳　佐賀平佐賀
名古屋高等工業學校生徒　寺島隆藏　千葉平東葛飾
開成中學校補習科　岡峻　岐阜平斐
秋元重保　千葉平楫
早稲田高等豫備科　佐藤儀次郎　熊本平熊本
第四高等學校生徒　小川茂　千葉平山武
渡邊洸　千葉平靑森士
第四高等學校生徒　今淵正太郎　三戸平
千葉醫學專門學校生徒　江波戸新一郎　千葉平匝瑳
松井重吉　千葉平印旛
中央大學生　秋塲騰　千葉平長生
實業　湯淺幹　千葉平市原
桑田良信　千葉平市原
第四高等學校生徒　中村郁哉　千葉平市原
第二高等學校生徒　三橋斗機雄　千葉平印旛
第六高等學校生徒　吉田仁作　佐賀平島

實業
早稲田大學豫科
高橋兼太郎　千葉平
馬立順三郎　千葉市葛飾
今井源内　千葉市原
安藤豊　千葉平
農科大學實科
實業
岡本耕治　千葉市原
石福覺治　千葉平
石野重雄　千葉夷隅
小泉賢次郎　千葉平
松戸園藝專門學校生徒
酒和長三郎　千葉印橋
札幌農學校生徒
根本甚四郎　千葉東葛飾
宍倉三郎　千葉山武
東北帝國大學農科大學豫科
丸山照六　埼玉北葛飾
片岡富貴雄　千葉平
櫻井理行　千葉山武
慶應義塾大學々生
白井昇三　千葉長生
青木貞　千葉東葛飾
湯淺皐　千葉平
東金尋常高等小學校訓導
村井光雄　千葉山武
千葉醫學專門學校生徒
永島貞治　千葉君津
多古農學校教諭
中村信次　千葉長生
東京高等商業學校生徒
元吉光太　千葉平
千葉醫學專門學校生徒
高橋梅城　千葉市原
士官候補生
秋庭對輔　千葉平
小學校教員
早川清　千葉市原
實業
齋藤專之助　千葉東葛飾
實業
鈴木晋治　千葉平
早稲田大學豫科
高石廣太郎　千葉匝瑳
波邊禎三　千葉市原
東京高等農學校生徒
加地敬吾　千葉市原
影山晃　千葉平
石出壽夫　千葉市原
千葉醫學專門學校生徒
須藤金吾　千葉平
石野匡矩　千葉山武
三枝治部　千葉山武

東北帝國大學農科大學生
勝正治　千葉君津

明治四十年三月卅一日（第廿一回）卒業（八十二名）

第一高等學校生徒
古川文三郎　佐賀士
第二高等學校生徒
藤沼藤七郎　栃木河内
海軍兵學校生徒
布施公平　千葉匝瑳
第二高等學校生徒
佐藤憲二　千葉山武
三橋重信　千葉平
第一高等學校生徒
飯田銀四郎　千葉印旛
笠川胤平　千葉平
第七高等學校造士館生徒
篠崎哲四郎　千葉山武
東京外國語學校生徒
大地亮平　千葉夷隅
第二高等學校生徒
澤茂　千葉市原
鍋木小四郎　千葉平
伊藤壽司　千葉平
鈴木忠之丞　埼玉西葛飾
千葉縣師範學校二部生徒
高中昭三郎　千葉東葛飾
實業
土岐篤　千葉市原
齋藤脩一　千葉匝瑳
實業
第七高等學校造士館生徒
林伊兵衛　千葉匝瑳
士官候補生
鶴岡要藏　千葉平
第二高等學校生徒
伊藤金三郎　千葉匝瑳
第一高等學校生徒
中田英司　千葉市原
石原濤作　千葉山梨
第五高等學校生徒
荻原竹次郎　千葉印旛
山田貴　千葉君津
第二高等學校生徒
森清風　千葉香取
千葉醫學專門學校生徒
海寶七郎　千葉香取
高石鋈次郎　千葉市原
東北帝國大學生
藍野祐之　千葉夷隅
高橋慶三郎　千葉市原
原田清吉　千葉印旛
東京高等工業學校生徒
野中昇　千葉平

第七高等學校造士館生徒
市原仁太郎　千葉平
加藤精一　千葉生
田邊孝　長生
小倉良　千葉平
小學校教員（市川）
伊藤祐次　千葉平
提山西暢　大井平
小學校教員
飯田陳次　千葉平
第一高等學校生徒
渡邊一郎　山武
松戸園藝專門學校生徒
飯田喜一　千葉平
小學校教員
岩佐榮二　東葛飾
慶應義塾大學豫科
鎚谷雄太郎　千葉平
東京外國語學校生徒
松田重則　奈良
東京外國語學校生徒
高橋隆司　千葉瑳
原商一　下伊那
千葉醫學專門學校生徒
須田鍾爾　長野
渡米
金親敏麿　千葉平
岩村敏郎　宮崎兒湯

第一高等學校生徒
渡邊逸郎　千葉平
豐田廣雄　千葉生
土屋秀　長生
黑澤二郎　秋田
第一高等學校生徒
福田惣藏　印旛
本校教師兼書記事務取扱
須鄕精　東葛飾
五助改
石橋市造　千葉平
千葉醫學專門學校生徒
一色赳　千葉平
小學校教員（白潟）
大和祐久　長生
小學校教員（千葉犢橋）
廣川茂成　千葉平
松戸園藝專門學校生徒
梅村善之助　千葉平
高石甚三　千葉平
清國派遣生
山下山三郎　千葉平
ロース、アンゼルス高等學校（在米）
鈴木德　東葛飾
千葉醫學專門學校生徒
中臺健次　千葉平
實業
桑原憲一　東京
松戸園藝專門學校生徒
海北誠　福岡筑紫

千葉醫學專門學校生徒
澤田章二　千葉平
竹內三郎　千葉平
實業
大堀喜智郎平　千葉平
石川隆　千葉平
中山竹一　東葛飾
田邊洲祐　長生
第二高等學校生徒
石井東海夫　長生
鶴岡守治　千葉平
手島昇三　山武

明治四十一年三月卅一日（第廿二回）卒業（七十名）

長谷川松太郎　千葉平
野村美哉　靜岡志大
第一高等學校生徒
佐久間操　市原
補習科
里村靜一　福岡朝倉
同
魚路一郎　市原
小教學校教員（菊間）
田中雄藏　東葛飾
實業
齋藤武　千葉山武
千葉醫學專門學校生徒
土屋了三　千葉平
柘植富久造　千葉平
吉原進　千葉山武
鈴木禎敏　千葉生
羽山祐三　安房
松戸園藝專門學校生徒
茂澤茂富　東京南葛飾
水野力松　千葉平
土屋信三　千葉山武
橋本忍　千葉山武
寺島謙太郎　東葛飾
大野潤一郎　千葉平
廣島道
補習科
竹林敬介　尾道
黑田寬　千葉香取
中島忠　千葉士
印旛
弓削田莊　市原
補習科
志賀清幸　千葉市原

加藤新司　千葉平
石井修三　千葉平
笠川德明　東京平
石田了三　北豐島平
猪股遷　千葉士
齋藤新之助　千葉平
白鳥千松　千葉平
松本禮禧　千葉平
湯淺惣五郎　千葉平
伊原茂　千葉平
今井浩明　千葉平
島村信　千葉平
伊藤憲三　千葉平
海保英二　千葉平
大田信之　千葉平
山本藤次郎　千葉平
大塚庸　東葛飾

士官候補生
補習科

寶業

小學校教員（養老）

第二高等學校生徒

小學校教員（市川）

小高愛二　千葉生
富塚富之助　長生
楠本武男　千葉平
上村三龜藏　千葉平
中田三郎　千葉平
山口昇　山武
內山榮助　千葉平
羽田久藏　千葉平
土屋央　千葉取
宇佐美益一　香取
縣修二　千葉平
大野勝治　山武
石塚匡　千葉平
大久保啓次郎　東葛飾
小河原隆次郎　千葉平
島野才二郎　千葉平
渡邊隆　高知士

東京高等工業學校生徒

一年志願兵

補習科

千葉縣監獄技手

松戶園藝專門學校生徒

補習科

田所糧助　東京士
飯塚政治　日本橋
柳下晟　千葉山武
君塚辰夫　埼玉平
二見得三　北足立
能勢理士　千葉平
新田宗太郎　東京士
高木彬　千葉麻布
石原吉之助　靜岡平
加田康一郎　千葉平
高階健之助　東葛飾
高潔　千葉平
岡本多聞　山武
細田實喜夫　東葛飾
川島憲　千葉平
始關寬　千葉平

補習科
東京外國語學校生徒
小教校教員（市原八幡）

明治四十二年三月卅一日（第廿三回）卒業（七十八人）

補習科
仝
仝
寶業
補習科

加藤重春　千葉長生
泉泰　千葉君津
清田發　千葉東葛飾
齋藤哲之助　千葉印旛
桐谷晃　千葉長生
苅米源三　千葉平
澤本源之助　千葉印旛
赤地源八　千葉印旛
錦織登　千葉長生
足助都　千葉市原
成島小二郎　千葉長生
土屋耕二　千葉隅
中島登喜治　千葉印旛
元吉慶四郎　千葉市原
永井俊吉　千葉安房
上原馨之助　千葉東葛飾

第二高等學校生徒

松戶園藝專門學校生徒

早稻田大學生

山口高等商業學校生徒

補習科

東北帝國大學農科大學
農科實科

錦織　足助　渡韓

補習科

補習科
小池定雄　千葉市士原
山澤平五郎　千葉平原
山本海之助　千葉印旛
重田德松　千葉東葛飾
佐野爲丸　千葉平田
澤本周司　千葉平葉
恒岡信親　千葉山武
森山正貴　千葉市原
小泉栖　靜岡安倍
國吉芳男　千葉東京
島木勇　千葉神田
富塚七郎　千葉山武
天羽馨　千葉市原
杉田保　千葉平葉
永島祀　千葉能義
芹澤立　千葉市夷
吉野中　千葉平隅

補習科
高橋文雄　千葉市原
齋藤二郎　千葉平葉
小林基　千葉印旛
久保田菊次郎　千葉鹽谷
酒井左右司　千葉香取
早川達三　千葉士葉
齋藤良治　千葉平葉
今野三郎　千葉市原
寺島亨　千葉印旛
和田誠助　千葉平葉
畔上貴　千葉平葉
石井謹爾　千葉長生
鶴岡守一　千葉長生
戸邊一一　千葉東葛飾
貝原揆一　千葉長生
清田達也　千葉東葛飾
小田島薫　岩手和賀

補習科
吉田庫之介　千葉平葉
宮島誠　千葉東葛飾
今井盛德　千葉士原
吉田暢　千葉山武
安藤榮一　千葉市原
成田四郎　千葉平葉
中村覺　千葉山武
清宮五郎　千葉平葉
水野篤　千葉平葉
日暮新　千葉平葉
加藤寅治　千葉市原
早川淡　千葉士葉
齋藤嘉一郎　千葉猿城
三橋邦治　千葉平島
武野重朗　千葉山武
今井鷹司　千葉長生
永野啓次　千葉市原

補習科
神田秋香　千葉平葉
中村和彥　千葉市原
粒良一哉　千葉長生
篠崎正路　千葉長生
染谷春　千葉東葛飾
根本繁　千葉東葛飾
石野治市　千葉平葉
筒井九郎　千葉平葉
小網通　千葉山武
島野藥　千葉東葛飾
中村芳雄　千葉長生
林義秋　千葉神奈川
小松原保雄　千葉東京橋濱
中山謙吉　千葉淺草
鵜澤治雄　千葉山武
長谷川銓吾　千葉三重
能勢豐次郎　千葉平志

創立以降卒業生徒數一覽

卒業年月日	卒業生徒數	卒業年月日	卒業生徒數
明治十四年七月十六日	五	明治二十三年三月二十五日	一〇
仝　十五年二月十日	六	仝　二十四年三月	一一
仝　十五年七月十八日	三	仝　二十五年三月	一四
仝　十六年二月十五日	六	仝　二十六年三月	一三
仝　十六年七月十八日	四	仝　二十七年三月	一五
仝　十七年二月十五日	六	仝　二十八年三月二十九日	一六
仝　十七年七月十二日	七	仝　二十九年三月三十日	一二
仝　十八年二月十八日	五	仝　三十年三月二十六日	二九
仝　十八年七月二十日	一三	仝　三十一年四月九日	一八
仝　十九年二月十五日	一五	仝　三十二年三月三十一日	一九
仝　十九年七月二十三日	二〇	仝　三十三年三月三十一日	二六
仝　二十年七月	一四	仝　三十四年三月三十一日	四二
仝　二十一年七月	一五	仝　三十五年三月三十一日	四四
仝　二十二年六月		仝　三十六年三月三十一日	五七

卒業年月日	卒業生徒數	卒業年月日	卒業生徒數
仝　三十七年三月三十一日	五九	仝　四十一年三月三十一日	七〇
仝　三十八年三月三十一日	七三	仝　四十二年三月三十一日	七八
仝　三十九年三月三十一日	七七	以上	八九七
仝　四十年三月三十一日	八二		

卒業生現況

明治四十一年十一月一日現在

官吏	陸海軍人	實業	教師 中等以上	教師 小學校	辯護士	會社銀行員	代議士	開業醫	勸務	病院	死亡	帝國大學	高等學校	高等商業	高等工業	醫學專門	美術學校	札幌農大	高等師範	農大科實	兵學校	東亞同文	師範二部	外國語學	台灣國語學校	記者	私立學校	其他	計
四二	四一	八三	三六	六五	三一	五	八一	四	七	五八	一	三八	三〇	五	六	四四	四	四	二	四	三	三	八	四	一	二	四三	二四四	八一九

備考（官私立學校を卒業し方向未定なるものは其他の中に數む）

千葉縣立千葉中學校生徒身体檢査統計表

明治四十二年四月卅日檢査

年齡	身長	体量	年齡	身長	体量
十三年			十九年		
總數	四八四三、三	一〇九一、七	總數	七六〇〇、五	二五〇九、四
最大	一五二、四	四〇、五	最大	一七二、三	六三、五
最小	一二七、〇	二五、〇	最小	一五二、七	四三、二
平均	一三八、四	三一、二	平均	一六一、七	五三、四
十四年			二十年		
總數	一一四一一、六	二八二九、一	總數	三七一五、二	一二四七、七
最大	一千九、〇	四七、七	最大	一七〇、九	六五、六
最小	一二五、〇	二二、九	最小	一五四、七	四三、一
平均	一四四、五	三五、八	平均	一六一、五	五四、二
十五年			廿一年		
總數	一七七九六、九	四八六〇、五	總數	八二五、三	二八〇、二
最大	一五六、六	五六、四	最大	一七二、二	六二、二
最小	一三一、五	二六、二	最小	一五九、三	四七、五
平均	一四九、六	四〇、八	平均	一六五、一	五六、〇
十六年			廿二年		
總數	一五一六六、二	四四八五、一	總數	一六五、〇	六五、〇
最大	一七〇、七	六二、三	最大	一六五、〇	六五、〇
最小	一二七、三	二六、九	最小	一六五、〇	六五、〇
平均	一五四、八	四五、八	平均	一六五、〇	六五、〇
十七年			廿三年		
總數	二三八三四、八	四二四九、一	總數	一六五、三	五一、一
最大	一六九、三	六二、九	最大	一六五、三	五一、一
最小	一三七、三	二三、三	最小	一六五、三	五一、一
平均	一五七、二	四八、三	平均	一六五、三	五一、一
十八年					
總數	一〇四三五、五	三三五五、九	生徒平均年齡	第一年級 十三年八ヶ月	五月一日現在 第四年級 十七年五ヶ月
最大	一七二、七	六三、一		第二年級 十五年	第五年級 十八年五ヶ月
最小	一五〇、一	三九、二		第三年級 十六年	
平均	一六〇、六	五一、六			

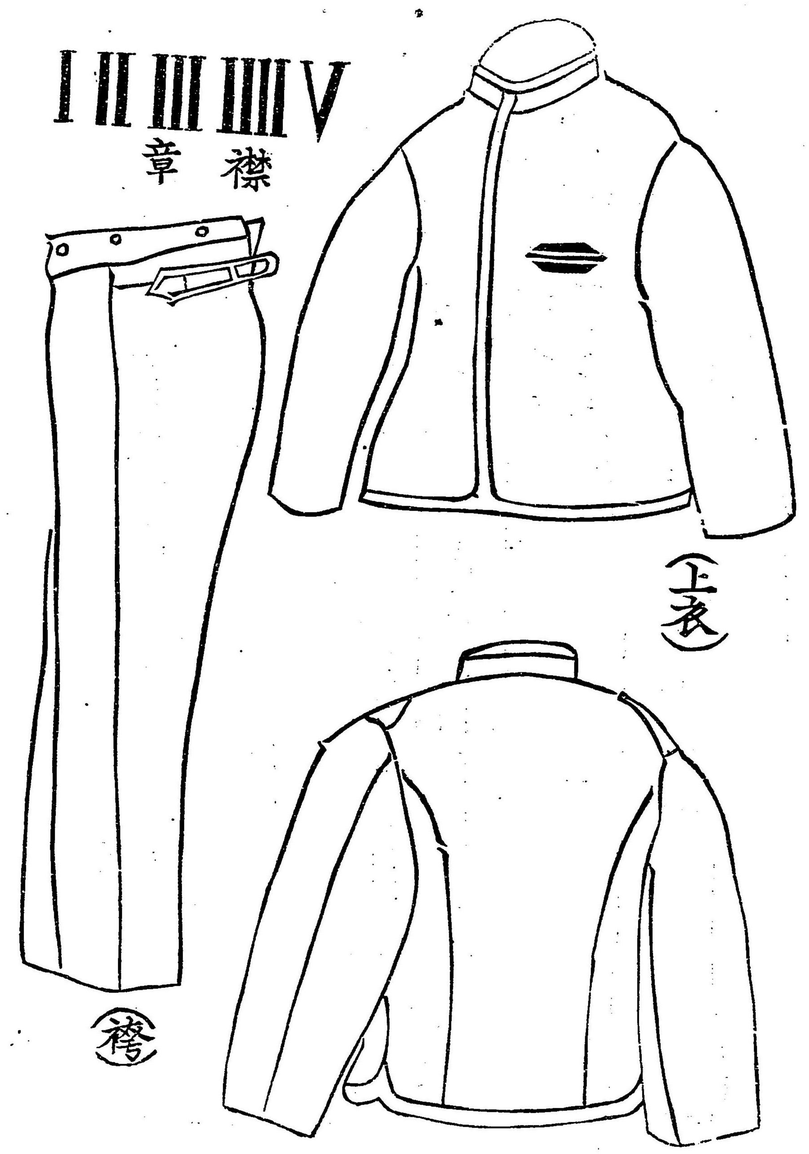
卒業生及生徒郡別表

明治四十二年五月一日現在

郡別／種別	千葉	市原	東葛飾	印旛	香取	海上	匝瑳	山武	長生	夷隅	君津	安房	他府縣	清國	計
卒業生	一八三	二七	五四	八五	二九	六	一九	九六	九五	二七	五三	二六	九七	〇	八九七
現在 補習科 甲組	八	六	二	二	〇	一	〇	四	〇	三	一	〇	五	〇	三三
現在 補習科 乙組	七	三	二	三	二	四	〇	二	二	一	三	〇	五	〇	三四
現在 第五年級 甲組	三	二	四	三	二	〇	一	六	二	一	一	〇	七	〇	四一
現在 第五年級 乙組	一〇	八	三	三	二	〇	一	三	三	一	一	〇	七	〇	四二
現在 第四年級 甲組	一三	五	二	一	一	〇	一	三	五	〇	〇	一	五	〇	三七
現在 第四年級 乙組	一五	五	三	一	一	〇	〇	二	六	〇	〇	〇	五	〇	三八
現在 第四年級 丙組	一八	二	一	三	一	〇	〇	二	二	二	二	二	五	〇	三六
現在 第四年級 甲組	一六	七	二	一	一	〇	一	一	五	一	〇	一	六	〇	四一

○卒業生及生徒郡別表

	生徒							
計	第一年級			第二年級			三年級	
	組丙	組乙	組甲	組丙	組乙	組甲	組丙	組乙
二五六	二三	二三	二六	一四	一五	一八	一六	二三
七九	四	六	三	一〇	七	四	三	四
二八	一	一	二	〇	二	〇	三	〇
四四	二	五	五	二	二	七	一	三
二	〇	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇
七	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
四	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
四八	三	〇	二	五	三	一	七	四
五〇	五	五	二	二	四	二	二	三
一七	一	一	〇	一	二	二	一	一
九	〇	〇	二	一	〇	〇	〇	〇
五	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
八八	六	七	五	三	五	七	九	一
一	〇	〇	〇	〇	〇	一	〇	〇
六四七	四七	四八	四八	三八	四〇	四二	四二	三九


Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ
襟 章
(上衣)
(袴)

千葉縣立千葉中學校全圖

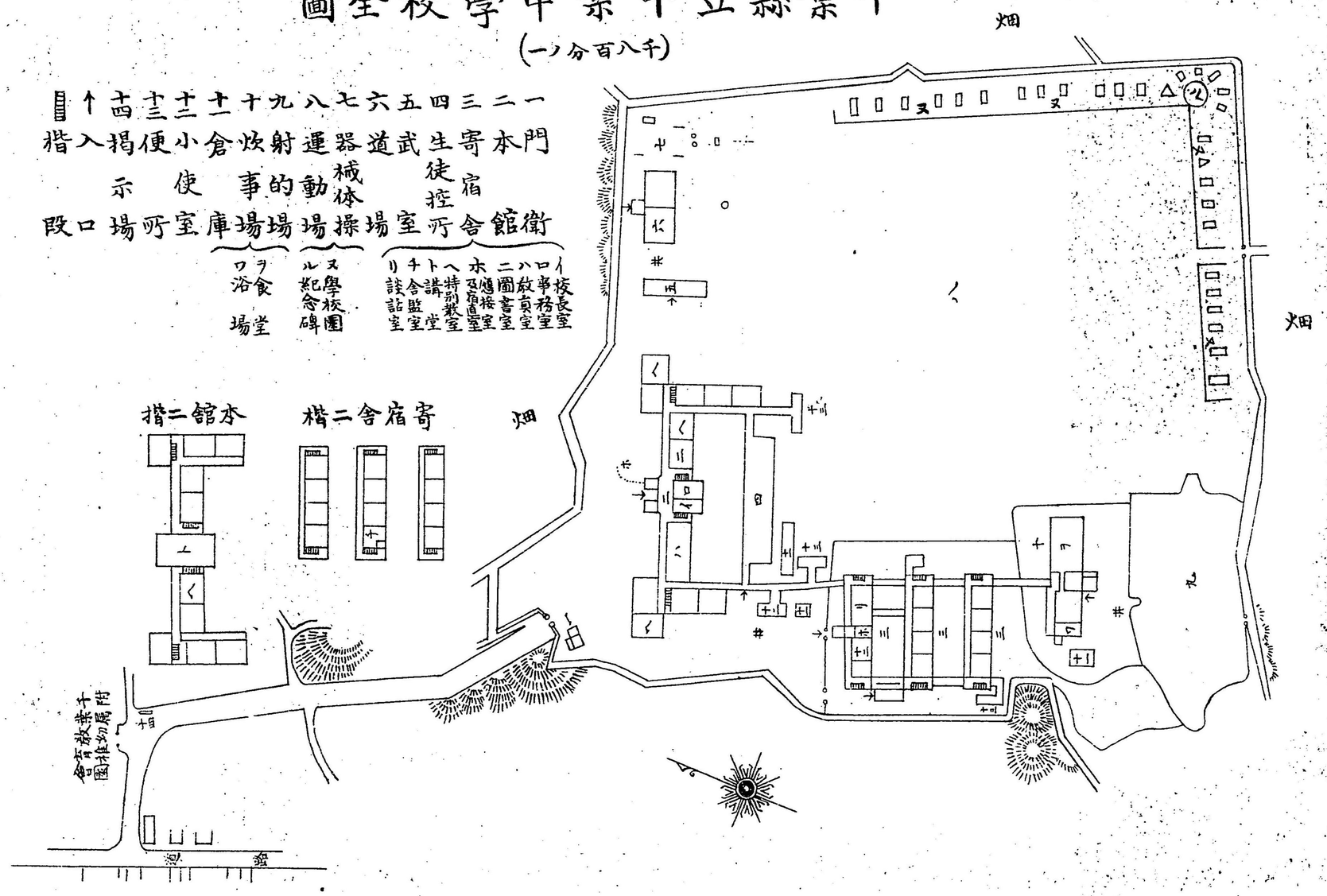
(一ノ分百八千)

一 門
二 本館衛
三 寄宿舍
四 生徒控所
五 武道場
六 器械体操場
七 運動場
八 射的場
九 炊事場
十 倉庫
十一 小使室
十二 便所
十三 掲示場
十四 入口段
↑ 指

イ 校長室
ロ 事務室
ハ 教員室
ニ 圖書室
ホ 應接室及宿直室
ヘ 特別教室
ト 講堂
チ 舍監室
リ 談話室

ヌ 學校園
ル 紀念碑

ヲ 食堂
ワ 浴場



敷地建物

本校ノ敷地ハ千葉町千葉字南猪鼻、西猪鼻及千葉寺字天神臺天辨臺ノ各字ニ跨リ其面積壹萬五千四百參拾坪ニシテ主要建物ノ數五附屬建物ノ數拾貳其ノ總建坪一千六十八坪二分ノ一各廊下ノ延長八十六間一尺ナリ又体育會千葉支部敷地内ニ建坪二十四坪ノ艇庫一棟ヲ有セリ

附錄

校友會規則

第一條　本會ハ千葉縣千葉中學校々友會ト名ヅク

第二條　本會ハ心身ヲ修練シ會員ノ親睦ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第三條　本會ハ雜誌ヲ發行シ之ヲ會員ニ頒ツ

第四條　本校職員及生徒ハ本會々員タルベキモノトス

第五條　本校卒業生ハ本會々員タルヲ得ベキモノトス

第六條　本會々員ヲ分チテ特別會員通常會員ノ二種トシ本校職員ヲ特別會員トシ本校卒業生ニシテ會員タルモノ並ニ本校生徒ヲ通常會員トス

第七條　特別會員ハ各自俸給月額百分ノ一ヲ毎月本會ニ寄附シ通常會員ハ會費トシ毎月金拾五錢(八月ハ除ク)ヲ本會ニ納ムベシ但卒業生ニシテ會員タルベキモノハ會費ヲ納ムルヲ要セス

第八條　會費ハ毎月授業料ト共ニ會計主任ニ差出スベキモノトス

但　新ニ入會シタルモノハ入會金トシテ金五十錢納付ヲ要ス

第九條　本會ハ左ノ部門ヲ置ク

擊劍部、柔術部、遠足部、野球部、端艇部、陸上運動部、弓術部、雜誌部、庭球部、學藝部

第十條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長　一名

委員長　一名

特別委員　若干名

會計主任　一名

事務委員　若干名

通常委員　若干名

第十一條　會長ハ本校々長トス

第十二條　委員長ハ本校教務主幹トス

第十三條　特別委員ハ各部ニ一名以上トシ事務委員ト共ニ本校職員中ヨリ會長之ヲ委任シ通常委員ハ各部ニ二名以上トシ部員ノ互選ニ依レル候補者中ヨリ會長之ヲ指命ス

但臨時職員中ヨリ校閲委員若干名ヲ任命スルコトアルヘシ

第十四條　特別委員事務委員及通常委員ノ任期ハ一ケ年トシ毎學年ノ始ニ於テ新ニ任命又ハ選擧ス

但學年始新ニ任命又ハ選擧ヲ了スル迄ハ前學年委員假ニ之ニ當ルモノトス

第十五條　會計主任ハ本校會計主任書記ニ會長之ヲ委任ス

第十六條　會長ハ本會々務ヲ總理ス

第十七條　委員長ハ委員ヲ統理シ兼テ會長ノ事務ヲ補佐ス

第十八條　特別委員ハ通常委員ヲ統理シ各部ノ事務ヲ管理ス

第十九條　事務委員ハ本會ニ關スル庶務會計等ノ事務ヲ處理ス

第二十條　通常委員ハ各部ノ事務ヲ掌理ス

第二十一條　本會ニ關スル一切ノ事項ハ委員長及委員協議ノ上會長ノ認可ヲ經テ決定施行スヘキモノトス

第二十二條　各部ニ關スル一切ノ事項ハ委員長及其部ニ屬スル委員協議ノ上會長ノ認可ヲ經テ決定施行スヘキモノトス

第二十三條　本會々員ハ各部ヲ通シテ其部員タルヲ得ヘシ

第二十四條　各部豫算ハ毎年ノ始メニ於テ之ヲ定ム

但シ各部ニ於テ剩餘金又ハ不足金ヲ生シタル場合ニ於テハ委員會ノ決議ニ依リ互ニ融通スルコトヲ得

第二十五條　各部ニ關スル規則ハ別ニ之ヲ定ム

第二十六條　本會ノ規則ヲ改正セントスル時ハ委員長ニ申出テ委員協議ノ上會長ノ認可ヲ受クヘシ

第二十七條　各部ノ規則ヲ改正セントスル時ハ委員長ニ申出テ委員長及ヒ其部ニ屬スル委員協議ノ上會長ノ認可ヲ受クヘシ

●雜誌發行規程

第一條　雜誌ノ發行ハ毎學期一回トシ發行月日ハ委員ノ協議ニヨリ便宜之ヲ定ム

第二條　雜誌編纂ノ爲メ特別委員一名委員五名ヲ置キ特別委員ハ特別會員中ヨリ委員ハ通常會員ノ指名ニヨリテ之ヲ定ム

第三條　委員ハ三名ヲ編纂委員トシ二名ヲ庶務委員トシ其役割ハ委員間ノ協議ニヨリテ之ヲ定ム

第四條　編纂委員ハ原稿ノ募集及ヒ其編纂ヲ掌リ兼テ記事ヲ作ルモノトス

第五條　庶務委員ハ雜誌ノ印刷配附發送等其他編纂ニ關セザル一般ノ事務ヲ掌ル

第六條　雜誌ニ登載スヘキモノハ左ノ五種トス

一、各學級ニ於ケル作文ノ優等ナルモノニシテ擔任教師ヨリ推撰セラレタルモノ

二、試驗答案若シクハ試業論文ノ優等ナルモノニシテ擔任教師ヨリ推撰セラレタルモノ

三、通常會員ノ任意ニ寄稿セル文章

四、特別會員ノ寄稿セル文章及其他本校及本會ニ關係アルモノヨリ寄稿セラレタルモノ

五、本校及本會ノ記事

第七條　特別委員ハ一切ノ編纂事務ヲ監督ス

●野球部規則

第一條　本部ニ加入セントスルモノハ其ノ旨委員ニ申出テ許可ノ上ハ部員人名簿ヘ調印シ退部セントスルトキハ委員ノ許可ヲ經ヘキモノトス

第二條　一旦退部シタル者ニシテ再ヒ加入セントスルトキハ特別ノ事情アルニアラザレバ許可セザルモノトス

第三條　競技ハ課業後又ハ休日トス

第四條　諸器具ノ取扱ヲ鄭重ニシテ使用後ハ必ズ規定ノ場所ニ置クヘシ

第五條　諸器具ヲ毀損又ハ紛失シタルトキハ相當ノ賠償ヲ爲サシムヘシ事情止ムヲ得サル場合ハ此限リニアラス

●端艇部規則

第一條　本部ニ入部又ハ退部セントスルモノハ其旨委員ニ申出テ許可ヲ受クヘシ
但游泳ヲ爲サザルモノハ入部ヲ許サズ

第二條　一旦退部シタルモノニシテ再ヒ加入セントスルトキハ特別ノ事情アルニアラザレバ許可セザルモノトス

第三條　端艇ヲ使用セントスルトキハ委員ノ許可ヲ經乘艇簿ニ其艇長及乘組員ノ姓名艇名櫂槳及歸着ノ時日並ニ其方位等ヲ詳記スヘシ

第四條　日出前日沒後ハ乘艇ヲ許サズ

第五條　艇中ニ於テ釣魚投網及獸獵等ヲ爲スヘカラス

第六條　乘艇區域ハ登戸ヨリ曾我野ニ至ル海岸線ヲ距ルコト正面三十町以內トス

第七條　前條區域外ニ進航セントスルトキハ必ス委員ノ乘艇ヲ要スルモノトス

第八條　左ノ場合ニハ舟行ヲ許可セズ

一、風波甚シキ時

一、雨天ノ時

一、暴風ノ警報又ハ徵候アル時

但乘艇中之ヲ認メタル時ハ直ニ歸艇若クハ沿岸ノ地ニ避クヘシ

一、其日ノ課業終ラサルトキ

第九條　艇中ニアリテハ喧噪粗暴ノ擧動アルヘカラス

第十條　端艇ハ鄭重ニ取扱ヒ艇中ハ極メテ清潔ニシテ靴又ハ下駄草履等ヲ穿ツベカラス其他猥リニ起立シ或ハ舷緣ニ腰掛クルヿヲ嚴禁ス

第十一條　艇中ニハ若干ノ浮木ヲ備ヘ落舟者アレハ直チニ之ヲ投與スヘシ

第十二條　艇中ニアリテハ總テ艇長ノ命ニ從フモノトス

第十三條　曙東雲横雲ハ定員七人大和ハ五人以上七人以下ヲ定員トス
但シ場合ニヨリ本條ノ人員ニ增減アルモ許可スルコトアルヘシ

第十四條　乘艇ノ許可ヲ得タル當日風雨又潮汐ノ時間ニヨリ發艇スルコト能ハサル時ハ當日ノ許可ハ無効トス

第十五條　部員ハ乘艇ノ爲メ學科ヲ等閑ニ附スル等ノコアルヘカラス

第十六條　部員ニシテ學生ニ恥ツヘキ所行アルトキハ會長ノ許可ヲ經テ除名スルモノトス

第十七條　端艇ヲ毀傷シ又ハ附屬器械ヲ破損スルトキハ相當ノ賠償ヲナサシム

但事情止ヲ得サル場合ハ此限ニ非スト雖モ隱蔽ヲナシタルモノハ必ス賠償セシムヘシ

第十八條　此規則ヲ犯スモノハ日數ヲ限リテ乘艇ヲ禁シ又ハ委員ノ協議ニヨリ會長ノ許可ヲ經テ除名スルコトアルヘシ

◉陸上運動競技部規則

第一條　本部ニ加入セントスル者ハ其旨委員ニ申出テ許可ノ上ハ部員人名簿ヘ調印シ退部セントスル時ハ委員ノ許可ヲ經ヘキモノトス

第二條　一旦退部セタル者ニシテ再ヒ加入セントスルトキハ特別ノ事情アルニアザレハ許可セザルヘキノトス

第三條　毎年一回春季或ハ秋季ヲ期シ競技會ヲ催スヘキノトス

第四條　競技會擧行ニ關スル準備ハ委員主トシテ之ニ當ルモ其補助トシテ臨時委員ヲ設クルヘキノトス

第五條　前條ノ臨時委員ハ特別會員中ヨリ二名トシ會長之ヲ委囑シ通常會員中ヨリ若干名トシ會長ニ指命ニ依ルモノトス

第六條　競技會擧行ノ當日會長ヨリ委囑スヘキ臨時委員左ノ如シ（委員略ス）

第七條　競技會ハ總テ審判委員ノ審判又ハ諸委員ノ處置ニ服從スヘシ

第八條　競技者ハ本部員志願者ヲ以テ之ニ充テ定員ニ超過シタルトキハ選拔若クハ抽籤ニ依リテ之ヲ定ム

第九條　一旦決定シタル競技ハ變更シ又ハ他人ニ讓與スルヲ得ズ

第十條　競技者ハ一競技ニ付競技料トシテ金壹錢ヲ差出スヘシ

但有志者並ニ撰拔ヨリ成レルモノハ此限リニアラズ

第十一條　競技優等者ニハ賞品ヲ與フルモノトス

第十二條　競技者ハ華美又ハ奇異ノ服裝ヲナスヲ禁ズ

第十三條　競技會施行順序等其他詳細ハ其都度之ヲ定ム

第十四條　部員課業時間外校內ニ於テ技藝ヲ練習セントシ器具ヲ要スルトキハ其旨委員ニ申出ツヘシ

第十五條　本部備附器具ヲ毀損シ又ハ亡失セシムルトキハ場合ニ依リ相當ノ賠償ヲナサシムヘシ

◉擊劍部規則

第一條　本部ニ加入セントスル者ハ其旨委員ニ申出テ許可ノ上ハ部員人名簿ヘ調印

シ退部セントスルトキハ委員ノ許可ヲ經ベキモノトス

第二條　一旦退部シタル者ニシテ再ヒ加入セントスルトキハ特別ノ事情アルニアラザレバ許可セザルモノトス

第三條　本部ノ稽古時間ハ本校授業後ヨリ始マリ日沒迄ヲ限リトス

但シ時季ニヨリ時間ヲ示定スルコトアルベシ

第四條　休日及休ノ時間ハ稽古ヲ禁ズ

但シ特別ノ事情アルトキハ此限ニ非ラズ

第五條　擊劍道具ハ總テ取扱ヲ鄭重ニシ使用後ハ必ズ指定ノ場處ニ置ク可シ又各自所持品ノ外ハ校外ヘ持出ヲ嚴禁ス

第六條　竹刀並ニ附屬品ハ自辨トス

第七條　擊劍道具ヲ紛失若クハ破損セシトキハ速ニ委員ニ申出ヘシ其事情故意ニ渉ルトキハ辨償セシムルモノトス

第八條　本部ニ帳簿ヲ備フルコト左ノ如シ

一、教師出席簿　二、部員人名簿　三、施行者日載簿

第九條　施行者ハ出席ノ都度姓名ヲ日載簿ニ必ズ記載ス可シ

第十條　該規則ヲ犯シ若クハ委員教師等ノ命ニ從ハサルモノ又ハ技術ニ不熱心ナルモノハ除名スルコトアルベシ

●柔術部規則

第一條　本部ニ加入セントスル者ハ其旨委員ニ申出テ許可ノ上ハ部員人名簿ニ調印シ退部セントスルトキハ委員ノ許可ヲ經ヘキモノトス

第二條　一旦退部シタル者ニシテ再ヒ加入セントスルトキハ特別ノ事情アルニアラザレハ許可セサルモノトス

第三條　本部稽古時間ハ本校授業後ヨリ始メ日沒迄ヲ限リトス

但シ時季ニヨリ時間ヲ示定スルコトアルヘシ

第四條　休日及休ノ時間ハ稽古ヲ禁ス

但シ特別ノ事情アルトキハ此限ニ非ラス

第五條　稽古着等ハ總テ取扱ヲ鄭重ニシ使用後ハ必ス指定ノ場處ニ置ク可シ又各自所持品ノ外ハ校外ヘ持出ヲ嚴禁ス

第六條　稽古着等ヲ紛失シ若クハ破損セシトキハ速ニ委員ニ申出ツヘシ其事情故意ニ渉ルトキハ辨償セシムルモノトス

第七條　本部ニ帳簿ヲ備フルコト左ノ如シ

一、教師出席簿　二、部員人名簿　三、施行者日載簿

第八條　施行者ハ出席ノ都度姓名ヲ日載簿ニ必ス記載スヘシ

第九條　該規則ヲ犯シ若クハ委員教師等ノ命ニ從ハサルモノ又ハ技術不熱心ナルモ

ノハ除名スルコトアルベシ

●遠足部規則

第一條　本部ニ加入セントスルモノハ其旨委員ニ申出テ許可ノ上ハ部員人名簿ニ調印シ退部セントスルトキハ委員ノ許可ヲ經ヘキモノトス

第二條　一旦退部シタルモノニシテ再ヒ加入セントスルモノハ特別ノ事情アルニアラサレハ許可セサルモノトス

第三條　遠足ヲ爲スヘキ場所時日方法等ハ委員之ヲ定メテ部員ニ通知スルモノトス

第四條　都員遠足ヲナストキハ制服(代用服)制帽ヲ着スヘシ

第五條　遠足ヲナスニ當リ辨當ノ外食物ヲ携帶スルヲ許サス

第六條　遠隔セル地方ニ遠足ヲナシ汽車ニ乘ル必要アルトキハ豫メ屆出テ許可ヲ受クヘキモノトス

第七條　一泊遠足ハ本校教員ノ付添アルニアラサレハ許可セサル者トス

第八條　遠足中ハ總テ委員ノ指揮ニ從フヘシ

但委員欠席スルトキハ臨時ニ委員ヲ設クルモノトス

第九條　遠足中ハ特ニ本校生徒タル体面ヲ汚ス擧動アルヘカラス

第十條　委員ハ遠足記事ヲ本部備附ノ帳簿ニ記入スヘキモノトス

●弓術部規程

第一條　本部ニ加入セントスルモノハ其旨委員ニ申出テ許可ヲ受クヘシ退部セントスル者モ亦同シ若シ一旦退部シテ再ヒ加入セントスル者ハ其事情ニヨリ許否ヲ決ス

第二條　本部ハ毎年一回春季ニ於テ一週間ヲ限リ射場ヲ開設スヘシ但時季ニヨリ時間ヲ延長スヘシ

第三條　運動時間ハ放課後日没迄トス

第四條　該器具ハ總テ取扱ヲ鄭重ニシ使用後ハ必指定ノ場所ニ置クヘシ又一切校外ヘ持出スコトヲ禁ス

但當分ノ内委員若クハ其道ニ通ゼルモノ出席セザレハ器具ヲ取扱フコトヲ許サズ

第五條　弓矢並ニ掛ハ各自所持品ヲ使用スルニ於テハ隨意タルベシ

第六條　妄ニ他人ヲ誘引シテ場内ニ出入スルヲ許サズ若シ或場合ニ於テ之ヲ爲サントスルトキハ委員ノ許可ヲ受クベシ

第七條　諸器具ヲ紛失若クハ破損セルトキハ速ニ委員ニ申出ヅベシ若シ其事情故意ニ渉ルトキハ辨償セシムルモノトス

●庭球部規則

第一條　本部ニ加入セントスルモノハ其旨委員ニ申出テ許可ノ上ハ部員人名簿ニ調印シ退部セントスルトキハ委員ノ許可ヲ經ヘキモノトス

第二條　一旦退部シタル者ニシテ再ヒ加入セントスルトキハ特別ノ事情アルニアラ

ザレバ許可セザルモノトス

第三條　競技ハ課業時間外及ビ休日ニ隨意之ヲ行フコトヲ得

第四條　諸器具ハ取扱ヲ鄭重ニシテ使用後ハ必ズ規定ノ場所ニ置クベシ

第五條　諸器具ヲ毀損又ハ紛失シタルトキハ其狀情ニヨリ相當ノ賠償ヲナサシメ又ハ退部ヲ命ズルコトアルベシ

第六條　本部ニ於テ必要アルトキハ校友會費ノ外ニ部費ヲ徵集スルコトアルベシ

第七條　毎月徵集スヘキ部費ノ金額ハ豫メ之ヲ掲示スヘシ

第八條　部費滯納一箇月以上ニ及フモノハ退部者ト見做シ之ヲ除名スヘシ

但全一月間登校セサルモノハ其月分部費ヲ納ムルニ及ハズ

●學藝部規則

第一條　本部ヲ學藝部ト名ク

第二條　本部ノ目的ハ生徒ノ學藝ヲ奬勵シ其進步發達ヲ計ルニアリ

第三條　本部ノ目的ヲ達スル爲メ演說及製作品展覽等ヲ行フ

第四條　本部ハ校友會特別會員及通常委員ノ全部ヲ以テ組織ス

第五條　本部ハ毎學期ニ一回例會ヲ開ク

但臨時大會ヲ開クコトアルヘシ尙大會開設ノ學期ニ於テハ例會ヲ省クモノトス

第六條　例會ヲ分チテ便宜上三部トナシ二年級以下ヲ甲部三年級以上ヲ乙部トナシ

各々別ニ之ヲ開ク

第七條　本部ニ特別委員二名ヲ置ク通常委員ハ各組ニ一名宛ヲ置ク

●學校園規則

第一條　本園ヲ明治二十七八年戰役紀念園ト名ヅク

第二條　本園ノ目的ハ第一三十七八年戰役ノ紀念トナシ第二生徒ヲシテ自然ニ對スル趣味智識ヲ並得シ個人的勤勞及團体的働作ノ習慣ヲ養成セシメ且敎材ヲ提供スルニアリ

第三條　本園ヲ十四區ニ區畫シ各組ノ負担ヲ一區トシ學級主任監督ノ下ニ其培養掃除等一切ノ責ニ任スルモノトス

第四條　各學級分担ノ區畫ハ卒業ノ時迄之ヲ繼續スルモノトス

第五條　一區ヲ分チテ六畦畔トナシ之ニ栽培スヘキ植物略左記ノ順序ニ依ル

但五年級生徒ニ限リ一區ヲ九畦畔トナス

第一列　野菜及苗床用

第二列　草花

第三列　木本等

落葉喬木及常綠木ハ第三列後方列外トス

第六條　各組ニ委員五名ヲ置キ撰擧ニヨリテ之ヲ決シ其任期ヲ一年トス

第七條　園ニ要スル一切ノ費用ハ各組ノ負擔トナス

第八條　園ノ耕耘培養ハ毎週一回當番若干名ヲ置キ之ニ當ラシムルモノトス

●千葉中學校同窓會會規

第一條　目的　本會ハ會員相互ノ交誼ヲ厚クスルヲ以テ目的トス

第二條　組織　本會ノ會員ハ左ノ資格アル者ヲ以テ組織ス

一　舊千葉縣立中學校千葉縣尋常中學校及千葉縣立千葉中學校ノ卒業生ハ會員タルコトヲ得其半途退學セシ者ハ役員ノ承諾ヲ得テ會員タルコトヲ得

一　舊千葉縣立中學校千葉縣尋常中學校及千葉縣立千葉中學校ノ職員ハ特別會員タルコトヲ得

第三條　役員　本會ノ統括及會務ノ整理ヲナス爲左ノ役員ヲ置ク

一　會　長　　現任千葉縣立千葉中學校長トス

一　幹　事　　三名乃至五名トシ會長之ヲ指名ス

第四條　會員ハ會費トシテ毎年一月迄ニ金貳拾錢ヲ前納スルモノトス

第五條　集會及報告　本會ノ目的ヲ達センガ爲ニ毎年一回總集會ヲ開キ及報告書ヲ會員ニ頒ツモノトス

●職員貯金規約

第一條　本校職員ハ毎月俸給受領日ニ俸給額百分ノ一以上ヲ貯金スルモノトス

但拾錢位ニ止ム又加俸ハ之ヲ算入セス

第二條　貯金預ケ所ハ衆議ノ上ニテ郵便局又ハ銀行ノ一ヶ處ニ定メ各自ノ通帳ハ會計主任之ヲ保管ス

第三條　預託ニ關スル事務ハ會計主任之ニ當リ會計掛之ヲ輔ケ引出ニ關スルコトハ各自之ヲ辨ス

第四條　左ノ場合ニハ本校ノ認印ヲ得テ貯金ノ引出ヲナスコトヲ得

一、轉任若クハ辭任ノ時

二、重症ニ罹リタル時

三、家族中重症若シクハ死亡者アリタル時

四、結婚ヲナス時

五、不慮ノ災害ニ罹リタル時

六、其他非常特別ノ場合

第五條　貯金ハ其ノ全額ヲ引出スコトヲ得ス

但第四條第一項ノ場合ハ此限ニアラズ

第六條　毎月俸給受領ノ前々日ニ各自其ノ月ノ貯金額及氏名ヲ記シ會計主任ニ申出ツルモノトス

第七條　本規約ハ明治三十九年七月ヨリ之ヲ實行ス

●生徒貯金規定

第一條　本規定ハ一ハ日露戰役ノ紀念トシテ之ヲ創定シ一ハ生徒ヲシテ勤儉貯蓄ノ美風ヲ養成セシムルヲ以テ目的トス

第二條　生徒ハ毎月(八月ヲ除ク)其學費ヲ節約シテ之ヲ隨意千葉町所在ノ郵便局若クハ指定ノ銀行ニ預ケ入ルベシ

但最低額ヲ金拾錢トス

第三條　貯金ハ毎月十日以內ニ之ヲ預託シ其通帳ハ各自之ヲ保管スベシ

第四條　生徒ハ毎月十五日以內ニ必ス其通帳ヲ學級主任ニ提出シテ檢閲ヲ乞フヘシ

第五條　貯金ハ在校中之カ引出ヲナスコトヲ得ス

但慈善若シクハ他日生徒有益ノ道ニ使用スル爲學校ヨリ其引出シヲ許シタル場合ハ此限ニアラス

第六條　生徒卒業若クハ中途退學ノ際ニハ學校ハ當然其拂戻ヲ承認シ其貯金額ヲ父兄ニ通牒ス

第七條　拂戻ヲ請求セラレタル郵便局若クハ銀行ハ特約ヲ以テ其請求書ニ本校ノ證印アリヤ否ヤヲ檢シ證印ナキ場合ニアリテハ其請求ニ應セズ

第八條　學級主任ハ各月末其擔當學級ノ貯金額ヲ計算シテ之ヲ學校ニ報告スヘシ

第九條　本規定ハ明治三十九年七月ヨリ之ヲ實施ス

第十條　本規定ハ補習科生徒ニハ之ヲ適用セス

●使部貯金規定

第一條　本校使部ハ毎月給料受領日ニ金拾錢以上ヲ貯金スルモノトス

第二條　貯金ハ隨意之ヲ千葉町所在ノ郵便局若クハ銀行ニ預ケ入レ各自其通帳ヲ保管スルモノトス

第三條　左ノ場合ニハ學校ノ承認ヲ得テ貯金ノ引出ヲナスコトヲ得

一、解傭セラレタルトキ

一、重症ニ罹リタルトキ

三、家族中重症若クハ死亡者アリタルトキ

四、結婚ヲナストキ

五、不慮ノ災害ニ罹リタルトキ

六、其他非常特別ノ場合

第四條　貯金ハ其全額ヲ引出スコトヲ得ス

但第三條第一項ノ場合ニハ此限リニアラス

第五條　通帳ハ毎月五日迄ニ會計主任ニ提出シ其檢閲ヲ乞フモノトス

第六條　本規定ハ明治三十九年七月ヨリ之ヲ實行ス

●宿直內規

第一條　本校ハ職員(舍監ヲ除ク)一名ツヽヲシテ宿直セシム

奏任待遇者及校長ニ於テ特ニ指定シタル職員ハ宿直ヲ免除ス

第二條　宿直ハ教員二回毎ニ書記一回ツヽ交代トス

第三條　宿直ハ平日ト休日トヲ區別ス休日トハ大祭祝日、紀念日、日曜日、春季休業、冬季休業及前日ヨリ豫知スヘキ臨時休業ヲ云フ

夏季休業中ノ宿直ハ校長別ニ之ヲ定ム

第四條　順番ヲ定メ通知ヲナシ其他宿直一般ニ關スル事ハ庶務主任及上席書記之ヲ担當ス

第五條　宿直ハ授業ノ終リタル時(休日ハ始業ノ時)ヨリ翌日始業ノ時迄トス

第六條　宿直員ハ校內一切ノ警備ニ任ス

但寄宿舍開設中一切ノ警備ハ舍監ノ任トス

第七條　宿直員ノ處辨スヘキ事項凡ソ左ノ如シ

一　御眞影並ニ勅語謄本ヲ安全ニ奉護スル事

二　校印校簿及鍵ノ保管

三　門戸ヲ監督シ火災盜難ヲ警戒シ時々校內ヲ巡視スベシ

四　宿直時間中ニ到達セル文書及物品ハ之ヲ收受シ其至急ヲ要スルモノト認メタルモノハ校長又ハ主任者ニ送付シ其他ハ留置キ執務時間ノ初ニ庶務掛ニ交付スヘシ

五　風雨震災其他危險ノ學校ニ及フ虞アルトキ又ハ臨時緊急ノ事件生シタルトキハ相當ノ處辨ヲナスヘシ其ノ獨斷シ難キ場合ニハ主任者ニ照會シ又ハ其出校ヲ請求スルコトヲ得

六　以上各項ニ該當セサル事件ハ校長ノ指揮ヲ受クヘシ

第八條　宿直員ハ其取扱ヒタル事項ヲ宿直日誌ニ記載シ鍵ト共ニ次番ニ引繼ヲナスヘシ

第九條　宿直ニ當リ事故アルトキハ相對ヲ以テ代勤ヲ托スルコトヲ得此場合ニ於テハ代勤者一切ノ責ニ任ス

宿直中自家ノ近火又ハ急病其ノ他非常ノ場合ニハ同僚ニ代勤ヲ托シテ退出スルコトヲ得

但急遽止ヲ得サルトキハ一時舍監ニ托シテ退出スルコトヲ得

第十條　宿直ニ當リ病氣欲勤スルトキハ其出勤ノ日マデ次番ヲ繰リ上ゲルモノトス

左ノ事項ノ一ニ該當スルトキハ除直ス

一　出張中及其前日

一　忌引中

一　賜暇中
一　病氣引籠（欽勅七日以上）中
一　平日ト休日ト連直スベキトキ其後ノ一直

附則　宿直室ニハ左記ノモノヲ備フベシ
一　宿直日誌　一　職員宿直簿　一小使宿直簿　一職員及級長ノ宿所簿

（注意）生徒心得第二條第一項ノ誓約書式ハ左ノ如シ

（用紙半紙）

誓約書

一吾等ハ言行ヲ慎ミ志操ヲ堅クシ氣節ヲ尚ビ以テ校風ヲ振起センコトヲ誓フ
一吾等ハ信義ヲ重シ長短相補ヒ患難相救フベキコトヲ誓フ
一吾等ハ同志組合ノ中校風ヲ傷クルモノアル時ハ一同其責ヲ負フベキコトヲ誓フ

年　月　日　　年級　組
校長　宛　　姓名　連署

千葉縣立千葉中學校學科課程教授時數及教科圖書配當表

明治

學年 / 學科	時數	課程	圖書名
第一學年			
修身	一	道德ノ要領	口授
國語漢文	七	講讀	藤岡作太郎著 新体國語教本 一、二
		文法	國語漢文研究會編 改訂新編漢文教科書 一
		作文	大槻文彦校閲成舘編 修正國語綴字法教科書
		習字	山本廉著 新撰中等習字帖上(階書)
外國語(英語)	六	發音綴字	熊本謙二郎著 ニューインクリッシドリルブック 一
		譯解	鍾美堂編 スタンダードチョイスリーダー 一
		會話讀方	
		書取	神田乃武著 (第二學期ヨリ)
		習字	コピーブック 一、六
歷史地理	三	日本歷史	峰岸米造著 新編日本略史 上
		日本地理	志賀重昂著 同附圖 地理教科書
		外國地理	松島剛著 改訂本邦篇 日本地理教科書附圖
數學	四	算術	寺尾壽外一人著 中學校教科書 改訂算術之部 上
博物	二	鑛物	服部捨太郎著 新体鑛物界教科書
物理化學			
法制經濟			
自在畫			白濱徵著 新式中學校圖畫帖

學年 / 學科	時數	課程	圖書名
第二學年			
修身	一	道德ノ要領	口授
國語漢文	七	講讀	藤岡作太郎著 新体國語教本 一、三
		文法	國語漢文研究會編 改訂新編漢文教科書 一
		作文	大槻文彦校閲成舘編 修正國語綴字法教科書
		習字	山本廉著 新撰中等習字帖上(階書)
外國語(英語)	六	作文	全
		譯解	全 上 二
		會話讀方	全 上 二
		書取文法	バーンス著 ニューナショナルリーダー 二
歷史地理	三	日本歷史	全 上 下
		日本地理	全 上 下
		外國地理	三省堂編 最近地理學外國部 上 最近地圖ハンデーシルリンングアトラス
數學	四	代數	全 上 下
博物	二	植物	三好學著 訂正中學植物教科書
物理化學			
法制經濟			
自在畫			全上 三、四

學年 / 學科	時數	課程	圖書名
第三學年			
修身	一	道德ノ要領	全上
國語漢文	七	講讀	全 上 三、四
		文法	全 上 二
		作文	大槻文彦著 修正日本文法教科書上卷
		習字	全 上 中(行書)
外國語(英語)	六	作文	全 上
		譯解	全 上 二
		會話讀方	バーンス著 ニューナショナルリーダー 二
		書取文法	
歷史地理	三	日本歷史	全 上 下
		日本地理	全 上 下
		外國地理	三省堂編 最近地理學外國部 上 最近地圖ハンデーシルリンングアトラス
數學	四	代數	全 上 下
博物	二	植物	三好學著 訂正中學植物教科書
物理化學		生理衛生	全上
法制經濟			
自在畫			全 上 五、六

學年 / 學科	時數	課程	圖書名
第四學年			
修身	一	道德ノ要領	全上
國語漢文	七	講讀	落合直文著 新訂中等國語讀本 七、八
		文法	全 上 四
		作文	全 上 下卷
外國語(英語)	六	作文	全 上
		譯解	全 上
		會話讀方	岡倉由三郎著 グローブリーダー 卷四
		書取文法	プラット著 リンカーン、イン、ストーリー
歷史地理	三	日本歷史	齋藤秀三郎著 テキストブック、オブ、イングリッシコムポジション 一
		日本地理	全 上
		外國地理	中西保人著 アドバンスト、ステップ、イン、イングリッシュ、グラムマー
數學	四	代數	全 上
博物	二	植物	樺正董著 代數學新教科書 下
物理化學		化學	大幸勇吉著 新訂近世化學教科書
法制經濟			
自在畫			全上

學年 / 學科	時數	課程	圖書名
第一學年			
修身	一	道德ノ要領	口授
國語漢文	七	講讀	藤岡作太郎著 新体國語教本 一、三
		文法	國語漢文研究會編 改訂新編漢文教科書 一
		作文	大槻文彦校閲成舘編 修正國語綴字法教科書
		習字	山本廉著 新撰中等習字帖上(階書)
外國語(英語)	六	發音綴字	熊本謙二郎著 ニューインクリッシドリルブック 一
		譯解	鍾美堂編 スタンダードチョイスリーダー 一
		會話讀方	
		書取	神田乃武著 (第二學期ヨリ)
		習字	コピーブック 一、六
歷史地理	三	日本歷史	峰岸米造著 新編日本略史 上
		日本地理	志賀重昂著 同附圖 地理教科書
		外國地理	松島剛著 改訂本邦篇 日本地理教科書附圖
數學	四	算術	寺尾壽外一人著 中學校教科書 改訂算術之部 上
博物	二	鑛物	服部捨太郎著 新体鑛物界教科書
物理化學			
法制經濟			
自在畫			白濱徵著 新式中學校圖畫帖

學年 / 學科	時數	課程	圖書名
第二學年			
修身	一	道德ノ要領	全上
國語漢文	七	講讀	全 上 三、四
		文法	全 上 二
		作文	大槻文彦著 修正日本文法教科書上卷
		習字	全 上 中(行書)
外國語(英語)	六	作文	全 上
		譯解	全 上 二
		會話讀方	バーンス著 ニューナショナルリーダー 二
		書取文法	
歷史地理	三	日本歷史	全 上 下
		日本地理	全 上 下
		外國地理	三省堂編 最近地理學外國部 上 最近地圖ハンデーシルリンングアトラス
數學	四	代數	全 上 下
博物	二	植物	三好學著 訂正中學植物教科書
物理化學		生理衛生	全上
法制經濟			
自在畫			全 上 五、六

學年 / 學科	時數	課程	圖書名
第三學年			
修身	一	道德ノ要領	全上
國語漢文	七	講讀	全 上 五、六
		文法	全 上 三
		作文	全 上
		習字	全 上 下(草書)
外國語(英語)	六	作文	
		譯解	鍾美堂編 スタンダードチョイスリーダー 三
		會話讀方	興文社編 グランドファアザースストーリース
		書取文法	神田乃武著 ファースト、ブック、オブ、イングリッシ、コムポジション
歷史地理	三	日本歷史	桑原隲藏著 東洋史教科書
		日本地理	全人著 初等東洋歷史地圖
		外國地理	中西保人著 イージー、ステップス、イン、イングリッシュ、グランマー
數學	四	代數	藤澤利喜太郎著 初等代數學教科書 上
		幾何	菊池大麓著 幾何學小教科書 平面之部
博物	二	動物	石川千代松編 中等動物教科書
物理化學		生理衛生	開成舘編 撰定生理衛生學教本
法制經濟			
自在畫			全上 五、六

學年 / 學科	時數	課程	圖書名
第四學年			
修身	一	道德ノ要領	全上
國語漢文	七	講讀	落合直文著 新訂中等國語讀本 七、八
		文法	全 上 四
		作文	全 上 下卷
外國語(英語)	六	作文	全 上
		譯解	全 上
		會話讀方	岡倉由三郎著 グローブリーダー 卷四
		書取文法	プラット著 リンカーン、イン、ストーリー
歷史地理	三	日本歷史	齋藤秀三郎著 テキストブック、オブ、イングリッシコムポジション 一
		日本地理	全 上
		外國地理	中西保人著 アドバンスト、ステップ、イン、イングリッシュ、グラムマー
數學	四	代數	全 上
		幾何	瀬川秀雄著 中等改訂科教 西洋歷史
博物	二	動物	三省堂 ヒストリカルアトラス
物理化學		化學	丘淺次郎著 最近世動物學教科書
法制經濟			
自在畫			全上

漢文	國語	外國語（英語）	歷史地理	數學	博物	物理化學	法制經濟	圖畫	體操	計
七		六	三	四	二			二	三	二八
文法 作文 習字	訂編法文教科書 大槻文彥校閱成舘編 修正國語綴字法教科書 一 山本廉著 撰新中等習字帖上（階書）	發音 綴字 譯解 會話 讀方 書取 習字 熊本謙二郎著 ニウーインゲリッシ ドリルブック 一 鍾美堂編 スタンダード チョイスリーダー（第二學期ヨリ） 一 神田乃武著 コピーブック 一六	日本歷史 峰岸米造著 新編日本略史 上 日本地理 志賀重昂著 地理教科書 同附圖 外國地理 松島剛著 改訂本邦篇 日本地理教科書附圖	算術 寺尾壽外一人著 中學校數學教科書改訂算術之部 上	鑛物 服部拾太郎著 新體鑛物界教科書			自在畫 白濱徵著 新式中學校圖畫帖 一、二	普通兵式	總價五圓九十七錢
七		六	三	四	二			二	三	二八
上	訂編法文教科書 大槻文彥著 修正日本文法教科書上卷	作文 譯解 會話 讀方 書取 文法 全上 全上 二 バーンス著 ニウーナショナル リーダー 二	全上 全上 全上 下 三省堂編 最近地理學外國部 地圖ハンデーシルリンゲアトラス 上	全上 全上 藤澤利喜太郎著 改訂初等代數學教科書 上 下	植物 三好學著 訂正中學植物教科書			全上 全上 三、四	全上 全上	總價六圓六十六錢
七		七	三	四	二			二	三	二九
上	全上 全上 中（行書） 下（草書）	讀方 譯解 作文 會話 書取 文法 鍾美堂編 スタンダード チョイスリーダー 三 興文社編 ガランドフアザース ストーリース 神田乃武著 フアーストブック、オブ、インゲリッシ、コムポジション 中西保人著 イージー、ステップス、イン、インゲリッシュ、グランマー	東洋歷史 桑原隲藏著 東洋史教科書 全上 全人著 初等東洋歷史地圖 全上 中 全上	全上 藤澤利喜太郎著 初等代數學教科書 上 下 幾何 菊池大麓著 幾何學小教科書 平面之部	生理衛生 開成舘編 撰定生理衛生學教本 動物 石川千代松編 中等動物教科書			全上 全上 五、六	全上	總價十圓十錢
七		七	三	四	二	一		一	三	三〇
文法 作文	全上 下卷	全上 岡倉由三郎著 グローブ、リーダー 卷四 プラット著 リンカーン、イン、ストーリー 齋藤秀三郎著 テキストブック、オブ、インゲリッシコムポジション 一 中西保人著 アドバンスト、ステップ、イン、インゲリッシュ、グラムマー	西洋歷史 瀨川秀雄著 中等改訂科教西洋歷史 全上 三省堂 ヒストリカルアトラス 全上 山上萬次郎著 最近統合外國地理 下 全上	全上 全上 樺正董著 代數學新教科書 下 全上	動物 丘淺次郎著 近世動物學教科書	化學 大幸勇吉著 新訂近世化學教科書		全上 全上 全上 二	全上 全上	總價八圓七十一錢
七		七	三	四		四	二		三	三〇

葉中學校學科課程教授時數及教科圖書配當表

明治四十二年度

第二學年

書名	時數	課程	圖書名	教科書
教本	一三	全上	全上	三、四
研究會編 文教科書	一	全	全上	二
開成館編 修學法教科書			大槻文彥著 修日本文法教科書上卷	
著 學帖上（階書）	七	上	全上 中（行書）	七

第三學年

書名	時數	課程	圖書名	教科書
授	一	全上	全上	一
鍾美堂編 スタンダード チョイスリーダー	三	全	全上	五、六
興文社編 グランドファザース ストーリース			全上	三
神田乃武著 ファースト、ブック、オブ、イングリッシ、コムポジション			全上 下（草書）	六

第四學年

書名	時數	課程	圖書名	教科書
講讀	一	全上	全上	
落合直文著 新訂中等國語讀本				七、八
文法	六	全	全上	四
作文			全上 下卷	六

第五學年

書名	時數	課程	圖書名	教科書
倫理	一	全上	全上	
學ノ一斑				
全上	全上	全上	全上	九、十
全上			全上	五
全上		全上	全上	六
文學史		全上	藤岡作太郎著 新日本文學史教科書	

第二學年

書名	時數	課程	圖書名	教科書
作文	六	全	全上	二
譯解			全上	
會話			バーンス著 ニューナショナル リーダー	
讀方				
書取				二
文法				
岡倉由三郎著 グローブ、リーダー	一	全	全上	四
プラット著 リンカーン、イン、ストーリー			全上	
齋藤秀三郎著 テキストブック、オブ、イングリッシコムポジション				
中西保人著 アドバンスト、ステップ、イン、イングリッシ、グラムマー				
遣著 略史上		全	全上	三
同附圖			全上	下
地著 科書				
本邦篇			三省堂編 最近地理學外國部上 地圖ハンデーシルリングアトラス	
教科書附圖				
著			全上	三
東洋歷史			全上	
桑原隲藏著 東洋史教科書				
全人著 初等東洋歷史地圖			全上 中	
西洋歷史			全上	
潮川秀雄著 中等改訂西洋歷史			山上萬次郎著 最近統合外國地理 下	
三省堂 ヒストリカルアトラス			全上	
日本歷史			全上	
三省堂編 最近地文學				

第三學年

書名	時數	課程	圖書名	教科書
英語教授研究會編 ニューイムピーリアル リーダー	五	全	全上	
開成館 ニューナショナル リーダー五卷拔萃				
齋藤秀三郎著 プラクチカル、イングリッシレッスンズ	三			
神田乃武著 ハイヤー、イングリッシ、グラムマー				
太郎著 外一人著 改訂算術之部上				
植物		全上	代數	二
三好學著 訂正中學植物教科書			藤澤利喜太郎著 改訂初等代數學教科書上	
全上			全上	
全上			全上	三、四
生理衛生			全上	二
動物			幾何	
開成館編 撰定生理衛生學教本			藤澤利喜太郎著 初等代數學教科書 上	
石川千代松編 中等動物教科書			菊池大麓著 幾何學小教科書 平面之部	
全上			全上	五、六
一、二學期 三、四學期			全上	四
動物			全上	
丘淺次郎著 近世動物學教科書			樺正董著 代數學新教科書 下	
全上			全上	
化學			全上	
大幸勇吉著 新訂近世化學教科書				
物理			全上	四
中村清二著 新訂近世物理學教科書			三角法	
遠藤又藏著 平面三角法教科書			全上	
全上			全上 立体之部	
法制經濟		全上	全上	二
土屋彥太郎外一人著 中等法制經濟教科書				

| | | |

259
462

正誤表

頁	行	正	誤
七	十五	○賢	、賢
八	一	○補	、龍
全	二	○ル	、龍
全	一	○圖	、講
十	末	○選	、レ
十	全	○拔	、撰
廿八	十三	○字	、圖
廿七	一	○ン	、撰
百九	十二	○選	、撰
百十三	八	○選	、撰
百九	五	○選	、紀
百十四	末	○記	、撰
百廿四	一	○譬	、誓
百廿五	九	○託	、托
全	十一	○託	、托
全	十三	○託	、托

259
462

明治四十二年七月十日印刷
明治四十二年七月十五日發行

千葉縣立千葉中學校

編纂兼發行者　股野潛　千葉縣千葉郡千葉町寒川九百八十九番地

印刷者　積成舍　千葉縣千葉郡千葉町寒川九百八十九番地

印刷所

正誤表

頁	行	誤	正
七	五	賢、	賢○
八	二	補、	補○
全	一	過、	過○
全	末	選、	選○
十	全	撰、	撰○
十七	三	字、	字○
廿八	形	形、	形○
廿七	書	書、	書○
百九	二	圖、	圖○
百十三	二	撰、	撰○
百十九	二	撰、	撰○
百廿四	二	撰、	撰○
百廿四	末	紀、	紀○
百廿五	九	誓、	誓○
全	一	托、	托○
全	一	托、	托○
十三	一	托、	托○